

# 祝 創立

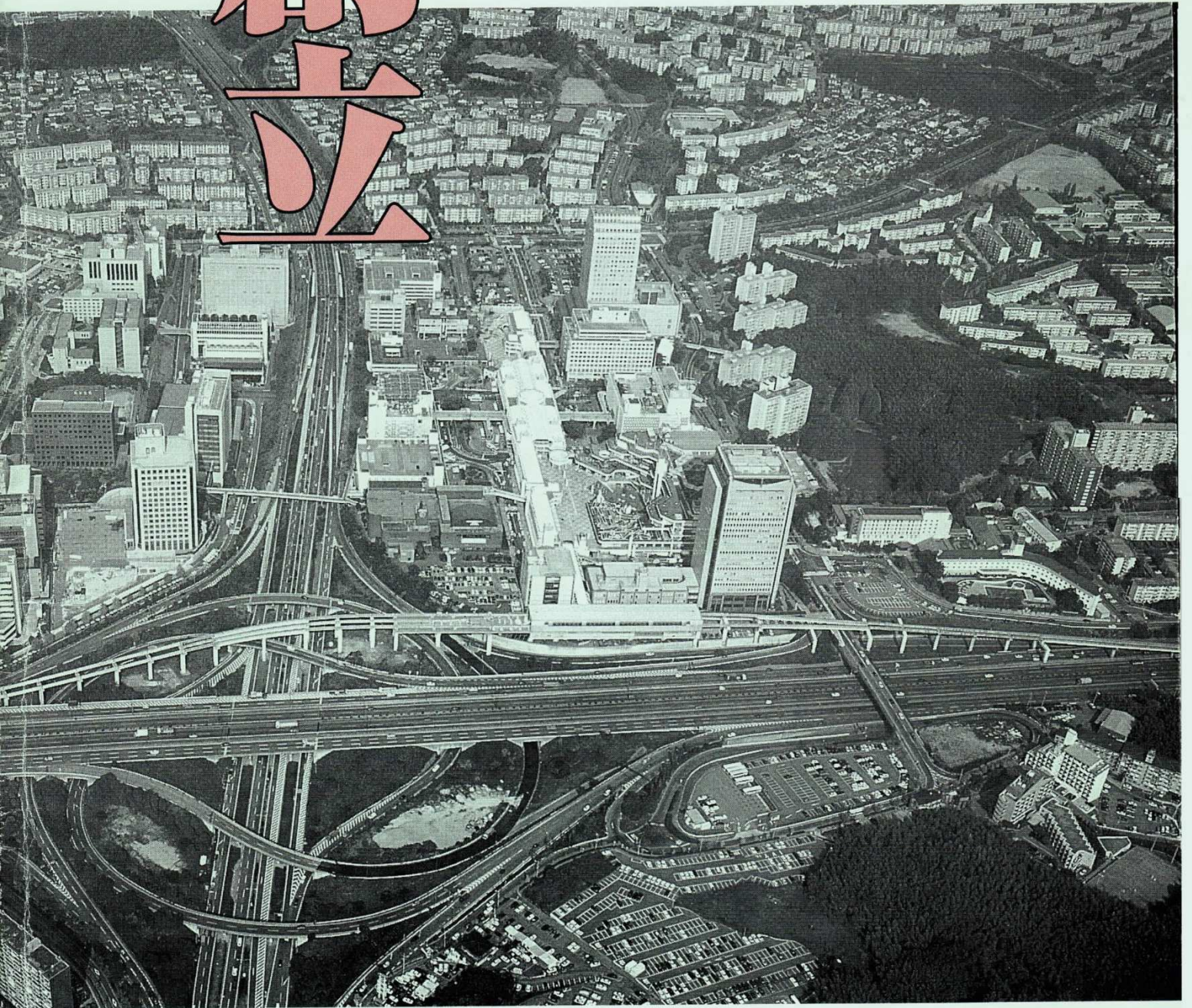
## 三団体創立周年記念誌

30周年東丘公民分館

20周年東丘校区社協

20周年防犯東丘支部

平成10年(1998年)10月25日



分館・社協・防犯 三団体周年記念実行委員会

# 目 次

はじめに	1
祝辞 市長あいさつ	2
分館・社協・防犯あいさつ	2～3
小学校・中学校校長あいさつ	4
新千里東町の歩み（Ⅰ）	5～7
東町に育った若人のことば	7～9
東町を支えた人たちのことば	10
発進基地としての公民分館	11～18
校区社協の20周年に際し	19～20
校区社会福祉協議会20年の歩み	21～32
防犯東丘20年の歩み	33～39
新千里東町の歩み（Ⅱ）写真集	40

## 三 団 体 周 年 記 念 実 行 委 員 名 簿

団 体 別 と 氏 名		住 所 (棟 号)	電 話 番 号	団 体 内 の 役 職
公 民 分 館	吉 田 昭	B16-407 東町3-3	831-8911	分 館 長
	平 田 英 一	A13-105 公 社	833-6588	副 分 館 長
	坂 井 津多子	C15-103 公 団	831-7302	主 事
	穂 田 京 子	B17-209 東町3-3	834-9267	主 事 補
	長谷川 みゆき	B 4-405 東町3-3	834-7990	主 事 補
	服 部 照 子	A39-303 あかしや	833-6481	元 主 事
東 丘 社 協	山 田 寿太郎	A20-107 深谷第一	872-0267	会 長
	歳 脇 儀 一	3-6-109 商 店 会	872-2623	副 会 長
	葛 原 功	A26-206 深谷第二	831-5567	副 会 長
	高 野 光 男	A39-207 あかしや	832-1951	副 会 長
	岸 畑 美津恵	C10-206 公 団	832-4923	副 会 長
	中 村 章 子	D 5-304 メ ゾ ン	831-4195	書 記
	吉 山 妙 子	C19-106 公 団	834-0822	会 計 事
防 犯	城 島 日娑世	C21-102 公 団	832-4689	理 事
	町 田 彦 一	D 5-301 メ ゾ ン	832-3406	支 部 長
	金 谷 吉三郎	D 6-203 メ ゾ ン	832-1303	副 支 部 長
	清 水 千 緋	A31-206 あかしや	831-6232	総 務 部 長
	山 下 但	B18-208 東町3-3	832-3950	防 犯 部 長
連 協	鷹 藁 アヤ子	A15-305 公 社	872-0337	企 画 部 長
	西 史 欽	B16-307 東町3-3	831-2483	会 長
	近 藤 範 枝	C10-204 公 団	831-8952	事 務 局
	平 戸 邦 弘	A37-208 あかしや	833-0330	元 会 長

---

---

## はじめに

---

---

近代的理想的マンション群に、千里中央商業施設を含めた新千里東町は、1966年（昭和41）年5月の入居から32年が経過した。

新千里東町に、公民分館が生まれて30年、社会福祉協議会、防犯協会が出来て20年になる。3団体は協力して、周年記念実行委員会をつくり、他団体と協賛、記念式典・ふれまちフェアを開催、記念誌を発行することになった。

新千里東町の諸団体はお互いに密接な関係を保ち協力しあい、ユニークな活動を展開している。諸団体は、常に住民の利益とニーズを第一に、住民の和と協力をモットーに、指導ではなく「縁の下の力持ち」に徹することを心掛けている。

住民が積極的に町の活動に参加することが、次第に困難になってきていることは、事実である。「衣食足りて礼節を知る」の格言通り、少子高齢と生活の見通し、子育ての困難は、町内活動にも影響を与えている。

公民分館の標語「人権を尊重し、明るい町づくり」「教養を高め心を豊かにすること」、防犯の「安全で住みよい地域づくり」の基礎は、生活の安定である。社会福祉の目標「全ての人が人間らしく生きる社会」のためには、生活の安定と行政の援助が必要である。

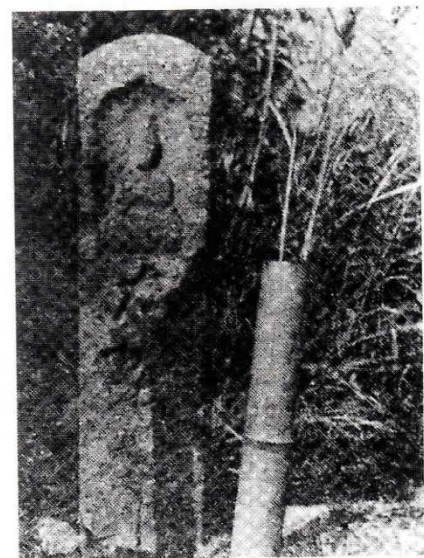
現在の経済社会の状況は、これと正反対である。市場万能、競争万能の社会は、弱肉強食の世界である。文化と発展の違う世界に、アメリカは市場万能を押しつけ混乱を引き起こしている。これはアメリカ資本の、資本による世界植民地化を目的とするもの、という批判がアジア諸国におきている。

世界に大きな2つの文化潮流がある。キリスト教にも存在しており、カトリック司祭の井上洋治氏は、厳しく裁く父と、優しく許し包容する母——日本におけるカトリックの歴史は、この2つの原理の相克の上にあった。イエスの本来もつ母性原理は、ユダヤ教の父性原理の社会からは抹殺されたと考えられている。

狩猟民族であった西欧は、個人と闘争が本性であり、農耕民族で水の管理と協同作業の東洋は、集団の場で「和を貴し」とする。

戦争に敗れ、アメリカの「個」を最高の価値と教え、東洋文化の「和」を捨てたことは、今、社会と教育を混乱させている一因ともいえる。

新千里東町では、「全ての人の利益と幸福」と「和」をモットーに、住民主体のもと「全ての人が人間らしく生きる町」の実現を目指したいと思う。



かつての新千里東町の道標

## 祝



東丘公民分館が30周年、東丘校区社会福祉協議会、及び豊中地域防犯協会東丘支部が20周年の節目をめでたく迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

平素皆様方には、市政の各般に亘りまして格別のご理解をご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

とりわけ東丘公民分館には、体育祭や各種講座など、身近な社会教育機関として、心のふれあう住みよい地域社会づくりに多大のご貢献をいただいております。また、東丘校区社会福祉協議会には、ひとり暮らし老人会への支援や給食サービスなど、自主的事業に熱心に取り組まれ、地域住民の福祉の増進にご尽力を賜り、更に豊中地域防犯協会東丘支部には、防犯や青少年の非行防止活動などを通して、平和で安全なまちづくりという大変尊い活動を熱心

## 辞

豊中市長 一色 貞輝

に展開していただいております。

今日、市内でも住民の連帯感の強い、有数の地域として発展を遂げられておられますのも、永年にわたり、ご尽力を賜りました関係者の皆さんのご熱意とご努力の賜ものと心から敬意と謝意を表します。

本市をとりまく行財政環境は大変厳しい状況にありますが、今後とも市民の皆さんと協働して安全で安心して暮らせる「21世紀にはばたく豊中」のまちづくりに全力を傾注してまいりますので、皆様方には変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

東丘公民分館30周年、東丘校区社会福祉協議会、豊中地域防犯協会東丘支部20周年を契機に今後益々発展されますように、併せまして、地域の皆様方のご健勝・ご多幸を心からお祈り申し上げます。

## 東丘公民分館創立30周年を迎えて



東丘公民分館発足30周年という記念すべき年を迎えることを、地域の皆様方と共に お慶び申し上げます。

この輝かしい歴史を振り返りますと、一入感慨の深いもの

を憶えずにはられません。30年の長いときを刻んで来られました歴代役員の皆様方、それを支えられた運営委員を始めとする各委員の皆様方、校区内各種団体の皆様方と、地域の皆様、小学校・中学校の校長先生を始めとする教職員の皆様方の心温まるご理解とご協力に、敬意を表しますと共に深く感謝の意をあらためまして表します。

この長い歴史の中で社会教育の一端である、生涯学習の推進に、また体育祭・文化祭・春秋に開催します文化講座に多くの皆様方のご参加を頂き、地域に根ざした分館活動が展開できますのも、分館がモットーとして「ふれあい」・「ふれあい」・「まなびあい」の精神が心の豊かさと、一人ひとりの

豊中市東丘公民分館 分館長 吉田 昭

生活環境に大きな「ゆとり」を旨めさせる一助につながっているものと信じています。

いま日本の社会が、少子高齢化の時代を迎え、国際化・高度情報化・経済構造の変化など大きな変革期を迎え、複雑化する生活意識の中で、どのように学習活動への関心を高めていくかが、今後わたしたちに課せられた責務として、地域の皆様を主体とした生涯学習活動を模索して参りたいと思考しております。

30周年を契機として、ますます地域との連携を深め、公民分館として条件整備を整え、施策の目標に向かって「人づくり」・「まちづくり」に益々の努力を払って参る所存です。

東丘公民分館 創立30周年、東丘校区社会福祉協議会・豊中防犯東丘支部 創立20周年が同時に迎えることが出来たのも、今後更なる連携強化の指針であり、皆様の期待に応えて参ります。今後とも地域の皆様のご指導ご鞭撻をお願いしてご挨拶と致します。

## 校区社協創立20周年を記念して

東丘校区社会福祉協議会 会長 山田 寿太郎

東丘校区社会福祉協議会は、1978(昭和53)年、8月27日、西村桂一氏によって発足しました。ここまで育てていただいた先輩の皆様に、深く感謝いたします。また、日頃ご協力、ご支援いただいている自治会の皆様にも、心から厚く御礼申し上げます。

社会福祉協議会は、戦後の民主化が進む中で、従来の組織を再編成し、近代化を計るため、1951年3月(昭和26年)地域福祉の発展を目的とし、住民による、住民のための、民間の自主的な団体として創設されました。

その後、1990年6月、老人福祉等福祉関係8法、ゴールドプラン等の改正をしました。

これまでの社会福祉制度は、戦後の生活困窮者対策を前提としたものでした。しかし、最近の急速な少子化、高齢化、家庭環境の変化による市民意識の変化、バブル以降の日本経済の構造変革と低迷は、社会福祉の理念と活動の改革を要求しています。

中央社会福祉審議会では、1997年11月、「社会福祉基礎構造変革」について議論してきました。その中間まとめとして、次のように言っています。社

会福祉の理念は、人々が自らの責任で、自らの生活を営むことを基本とする。自らの努力で自立した生活ができない場合は、社会連帯により支援する。個人が人とし尊厳をもって家庭や地域の中で、その人らしく自立した生活が送れるように支える。

この議論に呼応して、1998年5月、福祉に関するシンポジウムがあり、「マリオン」宣言が出され、次のように言っています。真に豊かな社会とは、誰もが人間らしく生きられる社会である。福祉は弱者救済ではない。福祉を安心社会の基礎、すべての人の権利ととらえよう。政府や自治体は、市民を幸福にする道具である。

東丘校区社協は、記念すべき創立20周年を迎え、社会ニーズを模索し、福祉活動をおこなって参ります。皆様の、より強力なご支援、ご協力をお願い申し上げます。



## 東丘防犯発足20周年にあたり

豊中地域防犯協会東丘支部 支部長 町田 彦一

豊中地域防犯協会東丘支部が発足して今年が20年に当たります。昭和53年7月15日に結成された東丘支部は、梅沢二三男氏を支部長に役員16名、相談役2名、委員約50名で組織され、活動を開始しました。

当時の名簿をみますと、梅沢支部長は残念ながら亡くなりましたが、大方の方々のご健在で、それぞれ活躍されております。なかでも、前川勤治氏、西村桂一氏、坂本治孝氏の3氏は、顧問として、また杉村芳子さんは役員として、防犯のためにご尽力いただいております。皆様方に厚く御礼申しあげ、今後益々のご指導、ご鞭撻をお願い申しあげます。

今年は千里ニュータウンが計画されてから40年目に当たります。東丘地区に限りますと、私の入居したのは万博開催の昭和45年で、メゾンはまだ、D4とD5棟の2棟のみ、阪急ホテル、阪急百貨店、大丸ピーコックは開店していましたが、セルシーはまだ空き地でした。今の朝日阪急ビルあたりに地下鉄の仮駅が設けられ、万博会場まで通じていたと記憶しております。

以来28年千里中央地区の開発と共に、住居地区も順次整備され、特に、この10年の進捗は著しい進展を見ました。防犯活動も着々成果は上がってまいりましたが、千里中央地区を抱えている関係上、犯罪

件数は豊中のトップで、自転車、オートバイ盗、脅迫犯等は後を断ちません。しかし、居住区の方は、最近残念な放火事件、空き巣等もありましたが、総じて静かで、豊中署管内では優秀な方です。「ひったくり」「シンナー遊び」などは殆どなくなり、「夏の夜の徘徊」も少なくなっています。

これは人口、特に、年少者の減少が原因の一つとも思われますが、防犯関係者の不断の努力も実っているものと自負しております。年少のうちにフェアプレーの精神をしっかりと叩き込むことこそ、学校、家庭教育の最も大切なことの一つと考えております。今後共皆様方のご支援をお願い申し上げます。



## 地域と共に歴史の創生へ



豊中市立東丘小学校 校長 北 秋 勲

このたび、豊中市東丘公民分館が30周年、東丘校区社会福祉協議会が20周年、豊中地域防犯協会東丘支部が20周年と、相重なり合って記念すべき節目の年を迎えられ、三団体一体となった記念誌を発刊されますことはまことに意義深いものがあります。心よりお祝いとお慶びを申し上げます。

かつて、山深い林野に鋤がはいり、東洋一を謳った千里ニュータウンが誕生して33年、以来、その中核をなす千里中央をふくむわが新千里東町は、先端文化の息吹と、茂る緑につつまれながら、和やかな人の輪が広がる落ち着いた町となりました。見ず知らずが、心通わせ合う人々の住むふる里にまで成熟するまでには、さまざまなご苦勞やご献身があっ

たに違いありません。心より敬意を表する次第です。一方、間近に迫り来る21世紀を展望する時、少子高齢化や住環境のリフレッシュ化と、それに伴う地域コミュニティーの一層の充実など、今再び、町づくりの新たな展開が期待される時期ともなっています。学校もまた、今、21世紀に向けた教育改革の真只中にあります。新しい学校づくりは、「開かれた学校」であり、学校・保護者・地域が一体となって取り組まねばならない喫緊の課題となっております。この記念すべき節目が、新しい歴史の創造にむけた契機として、公民分館をはじめ、地域の諸団体のみなさま一丸となった力強い第一歩となりますよう願ってやみません。

東丘地域のみなさまの、ますますのご発展を祈念いたし、お祝いの言葉といたします。

---

## 子どもたちに「癒し」の世界を

豊中市立第八中学校 校長 大塚 智恵子



待ちくたびれ うっとうしい物事にみちみちて  
学校でのながい不安や時が流れ去ってゆく  
おお ひとりぼっち おお 重苦しい時をすごすことよー  
・・・  
そしてみんなと遊び ボール投げや 輪投げや 輪回しを  
おだやかにたそがれてゆく公園でする

詩人、リルケの「幼年時代」の一節です。リルケにとって学校は不安で孤独な場所であったようです。でも学校から一歩外に出ると陽光きらめき、広場、噴水、公園と世界が広がり、みんなと遊びが待っている。ひとりぼっちの体験のあとに、暖かい『癒し』の空間が与えられていたように思えます。

これまではモノが豊富であるとか生活が便利であるとかに豊かさを感じてきましたが、これからは人

と人とのつながりや伝統を重んじる生活の中に豊かさを見いだしていく時代になると言われています。

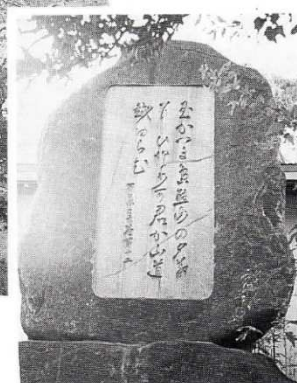
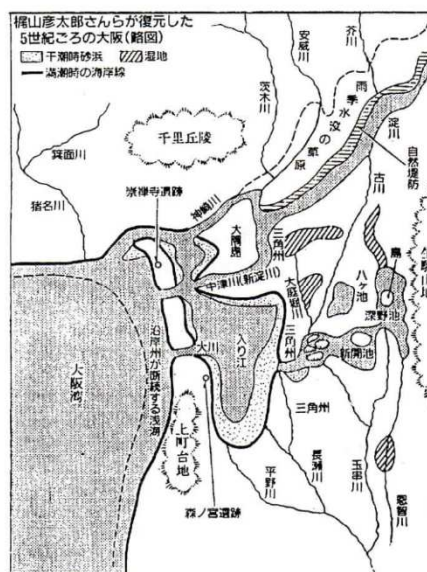
子供たちに真の豊かさを実感する感性を育ててもらうためにも、気持ちが安らぎ精神が癒される場所と時間を提供していかなければなりません。

地域のみなさんには日頃より大変お世話になっておりますが、今後ともお力添えいただきますようよろしく願いいたします。

## 新千里東町の歩み (I)

- 1626 (寛永3年) 山田村、出作りとして開村、上新田村、80石、下新田村、120石の代官支配地となる。
- 1635 (寛永12年) 戸数27戸、120石
- 1717 (享保2年) 戸数73戸、人口422人、
- 1873 (明治6年) 6月5日真覚寺に新田小学校創立
- 1876 (明治9年) 地租改正、地価に対し3%、かなりの負担になり、上新田村では納付延期願いを出している
- 1887 (明治20年) 209戸、人口、1004人
- 1947 (昭和22年) 農地開放、(進駐軍による、私有権の強制放棄)
- 1953 (昭和28年) 上新田村、豊中市と合併、下新田村は吹田市に合併
- 1973 (昭和48年) 上新田村、470戸、2600人
- 1958 (昭和33年) ニュータウン建設決定 (1200ヘクタール、人口15万人、3.7万戸)
- 1961 7月 千里ニュータウン起工式
- 1962 9月 佐竹台、750戸入居開始
- 63 8月 阪急南千里まで開通
- 66 4月 天皇皇后ご視察、北町入居開始、第8中学校開校
- 5月 東町入居開始、東丘小学校開校、6月千里人口5万人
- 67 3月 阪急北千里まで開通
- 68 3月 西町入居開始、9月、南町入居開始
- 69 11月 千里人口、10万人
- 70 2月 新御堂筋、中央環状線開通
- 3月 日本万国博覧会開催
- 3月 大丸ピーコック、千里阪急、中央専門店街(67店舗) 千里サントウン、阪急ホテル等、一斉にオープン
- 72 11月 レジャーセンター・セルシー、オープン
- 73 4月 千里開発センターが大阪府千里センターに改称
- 77 6月 セルシーにダイエー、オープン
- 8月 よみうり文化センター、オープン
- 88 12月 豊中市建物容積率一律削減案提示、住民の大反対に会う
- 90 4~7月 せんちゅうパル、白亜の宮殿風にリニューアルし、オープン

- 90 6月 大阪モノレール(千里中央~阪急南茨木)開通
- 12月 豊中市立千里体育館完成
- 92 6月 千里ライフサイエンスビル、オープン
- 11月 千里朝日阪急ビル、オープン
- 95 1月 阪神淡路大地震
- 96 7月 女性防火クラブ誕生
- 11月 東町消防フェア



### 参考文献 ーありがとうございました。

わが町の歴史・豊中、小村 茂氏  
 故、豊中市長、竹内 義治氏  
 元、吹田市助役、前田 清氏  
 梶山彦太郎氏

大阪府千里センター  
 新田公民分館、40周年記念誌

### 新千里東町の昔

新千里東町は、図のように、大阪の北、千里丘陵にある。豊中市は、西南が低地、中央が、台地、北東の高地に、112mの島熊山、そして、北町と箕面市との境に133.8メートルの最高地がある。

千里丘陵は、歴史的に古く、万葉集に島熊山が出ており、豊中不動尊境内に「玉かつま 島熊山の夕暮れに ひとりか 君が山道 越ゆらむ」という歌碑がある。また、津雲台から島熊山、待兼山の丘陵を寝山とも言い、行程3里、九十九谷ありと書かれている。

東町は、開発前上新田村であった。上新田村は、山田村の百姓が通い耕作をしていたと言われる。1626（寛永3）年頃である。（年表参照）

### 千里丘陵の開発

戦争によって荒廃した日本は、朝鮮戦争（1950-53）の特需によって、経済復興の端緒を掴み、つづく、ベトナム戦争（1959-75）、60年代の家庭電化、いわゆる、三種の神器（洗濯機、冷蔵庫、掃除機）、70年代の3C（カー、クーラー、カラーテレビ）等の普及で高度経済成長を果たした。大阪府は、人口の都市集中の受け皿として、未開発な千里丘陵（4000ヘクタール）の開発を計画した。

大阪府は、欧米のニュータウンを研究し、新しい近隣住宅理論を採用した住宅都市を作り、全国のニュータウンのモデルにしようとした。公園が24%、道路が22%、住宅面積が、全面積の約半分という理想を実現した。

千里地区は、新幹線や大阪空港に近く、高速道路も東名、中国、そして、中央環状線が走り、大阪市内にも、25分という理想の場所にある。1961年、ニュータウン起工式が行われた。1958年から基礎調査がされ、規模は、1160ヘクタールである。

千里丘陵は、標高30～130メートルの起伏のある酸性土壌で、雑木林が多く、竹林や、桃畑が散在するマムシの多い、狐や狸もいる丘陵であった。

買い取り予定面積 吹田市側、公募面積164.1万坪（所有者1690人）、豊中市側、公募面積85.2万坪（所有者800人）、合計、249.3万坪（全所有者3300人、約4万筆）であった。

この買収は、1960年までに、70%を、67年までで一応完了した。

この価格、坪平均1500円、買収は公募面積で行われたため、実測によって1.6倍の面積となり、坪900円の買い物となった。（1坪＝3.3平方メートル）

買収困難な土地、4分の1は、坪当たり、1万円になり、結局坪当たり、3200円となった。

建設は独立採算制で行われ、建設費592億円、これに、住宅建設費の民間投資額を含め、1940億円で、ニュータウンは建設された。

千里の土地を売った金で、万博会場付近を、坪500円で買った賢人もいたと。

### 新千里東町の完成

東町には1966年5月から、府営住宅の入居が始まった。続いて、公社67年桜丘、68年深谷第1第2、69年あかしや等の団地が完成した。

1970年日本万国博覧会の開催に合わせて、北大阪急行線が敷設され、中国自動車道、新御堂筋も出来た。公団住宅は万博の外国人宿舎用として建てられ、天井も高く、湯沸器も始めから付けられていた。メゾンが73年出来、東町の入居は完了した。

68年当時、建設中の東町は、風が吹くと、砂が舞い上がり千里砂漠と言われていた。千里中央地区はまだ、谷の底で、沼のように水が溜まっていた。桜ヶ丘住宅の4階からは夜、大阪駅や阪急のネオンが見えた。メゾンの東側の畔の横に、種から生えた赤松の木が3本ある、今17～18メートルの高木になって、30年の重みを感じさせる。

千里タウンが出来た当初は、豊中市内、吹田市内に入るバス便が不便で、ニュータウンだけで、独立都市に出来るとい言われた。

### 東町の現況と課題

当初、東町に入居した人の中心は、30歳代で、この人達は、子育てを終え今、60歳代である。東町で育った子供達が4千人、町を出て活躍している。1970年には、世帯数、2233、人口、7181人のうち、65歳以上の老人は、137人（1.9%）であったが、現在、世帯数、3247、人口、7308人、65歳以上は、1045人（14.3%）高齢の町となった。（北町は20%弱）

鉄筋のマンションも、30年経つと、老朽化が目立ち、狭小と現在のライフスタイルに合わない設備が問題になっている。

豊中市は、将来の建替えを見越し、住宅環境を考え、88年12月、200%の容積率を引き下げる建築規制案を提示してきたが、住民側の激しい抵抗に合い、一律削減はするが、建替え団地毎に緩



和率を定めるという案で妥協した。

千里地区では、公営団地で増改築により、浴室を設置したため、千里地区の公衆浴場は、マンションに建て変わっている。

また、千里地区で、既に建替えたもの、一室増築、二戸一化や、給排水管の取り替えが進められている。公社住宅、深谷第3住宅も給水管の取り替えをし、あかしや住宅では給水管の補修を終えた。

バブルの時から、建替えを計画していた桜ヶ丘住宅では、いま、「老朽化」をめぐる、係争中である。近隣センターでは、建替え問題を討議している。

その他の、分譲住宅でも建替え問題が常に議題に登る。西町の一団地では建替えを実行し、今鉄筋の組み立てが始まっている。

大店法による周辺地区への大型店の進出、人口減少等は、生活利便施設を集めた近隣センターの衰退を招き、足腰の弱い老人にとって、地区の医療施設とともに今後大問題になる。東町の現在の課題は、少子化、高齢化、マンションの老朽化、町の沈滞である。50年先を見た諸対策が急がれている。

### 新千里東町の人口

	人口(男)	人口(女)	合計人口
昭和43年	2,651	2,619	5,270
昭和48年	5,339	5,404	10,743
昭和53年	5,295	5,366	10,661
昭和58年	4,719	5,022	9,741
昭和63年	4,468	4,786	9,254
平成5年	4,056	4,460	8,516
平成10年	3,362	3,947	7,309

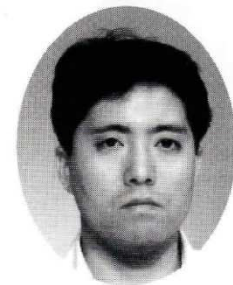
### 2丁目・3丁目別の人口

	2丁目(男)	3丁目(男)	2丁目(女)	3丁目(女)	総合計
昭和43年	993	1,658	981	1,638	5,270
昭和48年	3,337	2,002	3,441	1,963	10,743
昭和53年	3,329	1,966	3,434	1,932	10,661
昭和58年	2,933	1,786	3,241	1,781	9,741
昭和63年	2,739	1,729	3,005	1,781	9,254
平成5年	2,450	1,606	2,766	1,694	8,516
平成10年	2,026	1,336	2,458	1,489	7,309

## 東町に育った若人のことば

### ヒューストンにて

佐々木 純



この前久しぶりに遠い外国から一時帰国しました。千里中央から自宅に向かうまでのよく見なれた景色も懐かしいというより新鮮でした。やっぱり緑が多くて鮮やかで、今住んでいるところとは全然ちがう！思えば30年前、東町に来たばかりの頃に比べると街路樹はよく育ったなあとか考えながらの帰宅でした。でも逆に昔は中央公園や深谷公園の自然はあまり人の手がつけられていなくて、その恩恵を授かることができた子供だった僕達はホントに幸せだったのではないだろうか。

当時はまるで年中行事のように、4月はツクシがりに始まり、5月にはワラビなどを採集して食卓を賑わし、6月から8月にかけてはクワガタ採集に熱中したものです。中には売れば相当の値がつくだろうと思われたものもありました。9月からはカマキリを大量に捕まえ、それに餌をやるために更に大量の昆虫を捕まえなければならないということもありました。秋は柿、グミ、山葡萄などはただで食べることが出来たし、冬の間も林の中に秘密の基地を作

ったりと、遊びネタは尽きませんでした。もちろん危険もたくさんありました。マムシもいたし、大きな蛇の尻尾を思わず引っぱたら逆襲を受けたり、猟犬に追われたり、大ムカデに噛まれたり、究極はスズメバチの大群に取り囲まれてスプレーを片手に戦ったこともあったりして。幸い無傷の勝利に終わりました。(でも子供たちは絶対にマネをしないように！)

今から思うと、昔はホントによくあそんだなあ。勉強もせずに。でも子供の頃に思いっきり遊んだ経験というのが、将来の頑張りや集中力の糧になるのではないかと僕は思っています。これからも時々東町で遊んでいた頃のバイタリティーを思い出して、また一頑張りしようかなと思っています。(理学博士、テキサス大学で生物学分野の研究に従事中)



## 私のサッカーと東町

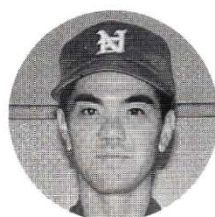
中村 和哉

30周年、おめでとうございます。私が東町に越してきたのは、幼稚園に入園する5才の時、昭和41年ですので、約31年前になります。当時の東町は、まだ現在のような街並みではなく、開発されたばかりといった感じで、建物は少ないが、自然には大変恵まれた環境でありました。小学生時代は今では中々見ることが出来ないコマ遊びやべったんなどが流行で、学校が終わると仲間と日が暮れるまで遊んでいました。中学時代は、友人達とサッカー部に入部し、3年間夢中でボールを追いかけていました。いまでもその仲間とは交友を深めており、私の一生の友であると思っています。その時のサッカーとの出会いがきっかけとなり、その後、北陽高校、大阪商業大学を経て、当時の読売クラブで9年間、選手生活を送りました。それらの経験を生かし、現在はプロサッカーコーチの職業についています。所

属は読売日本サッカークラブ（通称ヴェルディ川崎）の育成部門で、仕事内容としてはGK（ゴールキーパー）出身ということもあり、ジュニア（小学生）、Jrコース（中学生）、ユース（高校生）、ベレーザ（女子）のGK専門の指導をしております。昨年4月より、U-16（16歳以下）の日本代表のGKコーチとしても携わっています。

私は仕事柄、青少年に接する機会が多く、常々子供達を取り巻く環境の大切さを痛感しております。そういった意味で、私が育った東町は温かい人達に囲まれた、とても恵まれた環境にある街だと思います。これからも、人と自然の調和のとれた、住みよい街であって欲しいと願っています。

年に一度程度しか、帰省することが出来ませんが、スポーツを通じて、お役に立てることがあれば、是非、協力させて頂きたいと思っております。（プロサッカーコーチ）



## 私と野球

大平 幸治

僕の夢が実現したのは高校2年の夏でした。幼稚園の頃から野球が大好きで「雲は湧き…」と全国高校野球選手権大会歌を歌ってはいつかは自分も甲子園でプレーしたいという夢を抱いていました。小学3年の時、友人の勧めもあって東丘タイガースに入部しました。週3回の早朝練習では監督、コーチ、先輩たちのご指導の下、楽しむ野球、礼儀、チームプレーの大切さを教わりました。毎朝5時に起きて坂道のランニング、反復練習…と基礎体力づくりと共に、苦しさに耐える事を学びました。とくに、長谷川監督さんは雨の日も風の日もグラウンドに出て我々を待っていて下さいました。中学に進みボーイズリーグ大淀の一員となりました。

大淀での練習中先輩達の甲子園出場を耳にするにつけ何としても甲子園へとさらに野球への取組みに力が入りました。友人の親の紹介で天理高校に入学し、初めて親元を離れての寮生活です。練習の厳しさは想像を絶するものでした。夜中何度となく寮を抜け出して家に帰ろうかと思ったか知りません。2年生の夏、夢が現実となり第68回高校野球選手権大会に出場出来ました。1番ショートで甲子園の舞台に立ち、幸運にも天理高校初優勝を達成しました。

金メダルを胸にグラウンドを一周した時の感動は今もはっきり覚えています。監督、コーチ、先輩、友人の姿を思い感謝の気持ちと、長く苦しかった夢が実現した幸せでいっぱいでした。3年生の夏も甲子園出場を果たしました。甲子園大会後、全日本メンバーに選ばれ、二週間のアメリカ遠征に参加しました。翌年明治大学に推薦で入学しました。明大には当時御大、島岡監督がご健在でびくびくしたものです。一年の春のリーグから神宮球場でプレーでき、応援団のすごさに驚かされました。3回生のとき、学生全日本のメンバーとして韓国遠征に参加しました。大学を卒業して、社会人野球の日産自動車に入社し、現在7年目を迎えています。その間、都市対抗野球に6回出場でき、とくに今年の大淀では念願かなって優勝できました。東京ドーム3万5000人の大観衆の中でプレーし、名誉ある優秀選手賞にも選ばれ、最高の夏でした。その喜びに浮かれている間もなく、8月中旬より社会人野球選手権の予選が始まります。過去6回準優勝と惜しい結果を残し、今年こそはと又新しい目標に向かって日々頑張りたいと思います。東丘校区の少年少女の皆さん、大きな夢を持ち、それに向かってあきらめず頑張ってください。

（日産自動車野球部）

## 新千里東町に住んで

中原 秀夫



我々の住んでいる新千里東町は、オフィスビルやショッピングセンターが立ち並ぶ千里中央があり、北大阪のターミナルとして活気が感じられるが、我々の本来の生活空間は、深谷公園という緩衝地帯？の向こう側にあるのではないかと思う。「ひっそりとしている」よく言えば、端正で静かな町であり、悪く言えば活気の無い町である。新千里東町について、残念ながら私は後者の印象が強い。東町が誕生した31年前の昭和41年春、ここは竹やぶ、雑木林、池、沼地、と住宅建設造成地であり、そんな中にポツンと21棟の府営住宅と小学校、中学校、近隣センターが建てられ、やがて、みんなが夢に胸ふくらませ、新しい町での生活を始めた。当時の住人の年齢は30代後半から40代後半の若い世代が中心であり、人生で最も油の乗り切った世代であった。それだけに、エネルギーであり、ゼロの状態の自分たちの町を少しでも住みやすくしていこうと考えて、色々な場所で話をしていたように思う。時には府庁に足を運んで実情を訴えた。その甲斐あってか、それまで

雨が降るとぬかるみ長靴が必要であった町は、徐々に整備された。昭和45年の万国博を機に町全体が大きく変貌を遂げ、今の新千里東町が出来あがった。万国博期間中は、2丁目の今の公団住宅は外国人宿舎で、色々な国の人がこの町に集まった。おそらく日本中で一番国際化の進んだ町であったと思う。この頃から数年間が東町に最も活気が感じられた頃で、人は増え、子供が多く、府営住宅の増築もあった。やがて、子供は成長してこの町を離れてゆき、住人は歳をとっていく。同じ町に永く住んでいると、今の生活空間に慣れてしまい新しい変化を好まなくなる。しかし、21世紀を前に分譲住宅の建て替えも計画され、着工も秒読み段階に入っていると聞いている。これが実現すると、町の様子も大きく変貌し、新しい住人を迎えることになる。21世紀の新住民にも住みやすい町づくりをこの世紀末に、みんなが考えなければならないと思う。(地方公務員)

## 育った東町で子育て中

宗実 久美子



1970年3月、小学4年になる春休み、まだ真新しい「あかしゃ住宅」に父母と弟妹の5人で入居した。ちょうど千里万国博覧会が開催される時で、日本中の注目を千里ニュータウンが浴びている - そんな華々しい時代だった。それまで東大阪に住んでいた私は、初めて千里に来た時「すごーい！高いビルだらけや。」とまるで未来都市にタイムスリップした思いだったことを覚えている。その頃、千里中央駅は今のモノレールのように万博と結び、中央環状沿いの地上にあり、セルシーはなかったように思う。

当時、クラスで流行っていたのか万博の世界各国のコンパニオンからサインをもらう事。現在のC棟は全て外国人の宿舎になっていた。あかしゃ橋の上でノートを手に、通りかかる外国人に「サインプリーズ!!」、一般人に対して何て妙な事をしていたのか。でも快く相手になって下さり、時にはお国のバッジまで頂戴した。

中央公園はまだ何も無く展望台だけがそびえ、林の中を探検したり、柿をとったり、池や沼の魚やカ

エル採りに危険を犯したこともあった。こんな自然と近代都市が不思議に溶け合う東町から、八中、高校、大学、会社へ通い、結婚後1年半だけ千里を離れたが、すぐに住み慣れた千里が恋しくなり転居してきた。

現在、自分が育ったあかしゃ住宅に舞い戻り、父母とは棟違いに主人と二人の息子と暮している。長男はあの頃の私と同じ4年、次男も1年になり、私が通った校舎で学び、私が遊んだ東町のあちこちを同じように走り回っている。

千里中央は次々と開発されたが、東町住区はほぼ昔のまま。しかし、建て替えが現実化すると、私の故郷の景色も少しずつ変わりそうで淋しくもあり、また新たな発展が嬉しくもある。ただ昔と同じようにのびのびと平和な東町であってほしい… と子を持つ親としては願ってやまない。

(東町3丁目主婦)

## 少年野球の歩み



千里東丘少年野球部代表 葛原 功

東丘小学校が開校されると同時に、子供達の余暇の時間を健全育成の為、地域の大人達が自然発生的に始めた少年野球チーム

作りは、東町ニューライオンズと東丘タイガース2チームが発足して、10年間にわたり競い合ってきました。東丘タイガースが豊中大会で優勝すれば、東丘ニューライオンズは千里ニュータウン大会Jrで優勝しております。昭和61年に両チームの指導者の合意と和解により、2チームが合併して千里東丘少年野球部ができ、その後も各大会で毎年素晴らしい成績を収め、東丘地区に根付いたチームが出来あがりました。とくに、千里ニュータウン大会では、26、27、28各回大会で3連覇を成し遂げる最強チームとなり、関西団地中央大会にも4回出場しています。

東丘タイガースの先輩には大平幸治氏、彼は天理高校から夏の甲子園大会に出場して優勝されました。千里東丘少年野球部になってからの先輩に、大分県

柳ヶ浦高校の選手として清水輝久君が、島根県江の川高校の選手として大前知之君が、夏の甲子園大会に出場して千里東丘少年野球部員の目標となられています。

昭和60年頃からは、学校長のご理解にて校長室に優勝旗等をいつも飾って頂き、また、卒団式には毎年学校長はじめ、学校関係者並びに地域役員の皆様方のご出席を賜り、学校の施設をお借りし盛大に行うことが出来て、卒部者に印象に残る思いの一つとなり、感謝されています。各地区の催しにも、少年野球部に携わる人達が全力で協力し、とくに、地区体育祭では赤いユニホーム姿で頑張っております。また、盆踊り大会にイカ焼き参加はチームワークの重要な要となっていると思います。

平成の時代と共に子供も少なくなり、指導者や父兄の役割も大変多くなってきましたが、30周年を期にチーム作り、地域社会への参加、学校以外での教育指導に、もう一度皆で考えて頑張るべきではないでしょうか。

## 安場池は残った—新たな時代のはじまり—



「安場池を守る会」代表 中山 一郎

安場池（やすばいけ）をご存じですか。歩いて僅か5分の近さ、千里中央公園のご真中に、昔ながらのこの“野池”はあり

ます。

安場池。人々に安らぎを与え続け、鳥たちの聖域、在来魚の宝庫、そして公園全体の自然・生態系を支えてきたこの池が、今から14年前に市によってつぶされようとしたのです。

1984年1月。池の半分を新小学校建設に伴う残土で埋め立て、グラウンドを造る…。まさに“寝耳に水”でした。既に、残土搬入用のアスファルトのダンプ道路が公園の芝生を切り裂いて敷かれ、池の南面には高さ3メートルもの鉄塀がそびえ立ち、ダンプの洗い場まで完成しているではありませんか…。池の半分の埋め立ては、池の“死”を意味します。一体誰に断って…。

嘆いている暇はありません。口火を切った埋め立て反対の署名は、たった3日間で実に5,500名。市は「埋め立て一時中止」を決定せざるを得ませんでした。もともと安直な、机上の埋め立て計画なのです。市が時間稼ぎでその場をしのいで根負けを強いて押し切ってくる、このような、この国中にまかり通る理不尽な自然破壊のパターンを、私たちは読みきっていました。市が埋め立てに伴う生態系への影響調査を行う意思が全く無いことは、交渉で明らかでした。それならば、と各界の専門家を交えた住民による大規模な徹底した池の生態調査が、実に楽しく、四季毎に行われました。

もう勝敗は明らかでした。1986年8月。市は「埋め立て中止」を決定せざるを得ませんでした。それは、人間と自然との共生の、新しい時代のはじまりでした。こうして安場池は残りました。池の水面が私の眼の中で滲んでいます。

## ◆発信基地としての公民分館

### 東丘公民分館の役務

豊中市に於ける公民分館発足の歴史は、すでに40年といわれる長い年月をえています。

戦後の混乱期の中で豊中市は、生活文化の創造とうるおいある快適なまちづくりの実現にむけて全市民的な取り組みの求め方を策定し市民生活に「生きがい」や「活力」をどのように結びつけていくべきかを策定の原点として、浸透拡大の方策が1校区1分館による地域活動で豊かな生涯学習への推進につながるものとして、取り組まれて来たものと思われまます。わたくしたちの東丘公民分館も発足当初は、居住者の生活構成を見ましても、30代～40代と若い年代で、生涯学習の意味もさほど真剣に取り組まれていませんでしたが、年を追うごとに社会構造の急速な変化とあいまって、バブルの到来期と崩壊と目まぐるしい経済構造の変化と著しい社会環境の変革が押し寄せ、日本の社会全般が、少子高齢化・国際化・高度情報化など大きな変革期を迎えることになり、市民生活の意識も一段と多様化せざるを得なくなりました。このような変革期こそが人間社会の意識の向上と自発的に取り組んでいく活力を育むことが生涯学習への基本ではないでしょうか。

東丘公民分館の初代分館長を始めとして、引き継がれて来た30年、歴代分館長も理念に基づいて、地域活動・社会教育へ邁進してこられました。

今後とも地域の方々の自発性をうながし生涯学習活動を通じて、「住んでよかった東町」の実現に向かって精進し、人の和と町の活性化と身近な問題を民間教育機関の一端を担っている分館は、生涯学習の場と地域市民の研鑽の場をみざして努力を続けて参ります。



東丘小学校全景写真

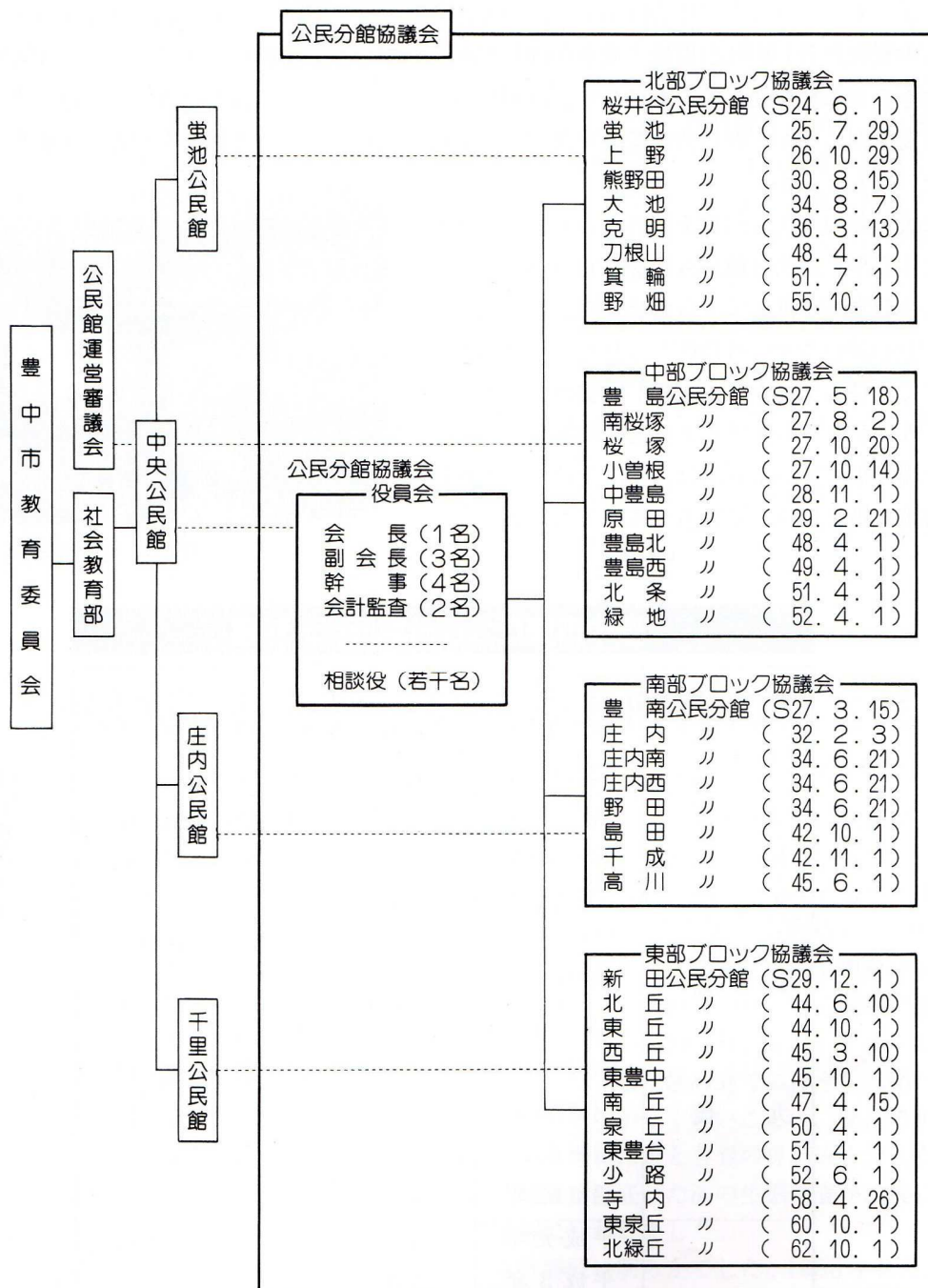
#### 豊中市東丘公民分館歴代分館長

初代	昭和44年	10月	猪古洋一
二代	昭和46年	6月	梅沢二三男
三代	昭和48年	5月	浜田泰孝
四代	昭和48年	8月	国枝弘治
五代	昭和50年	5月	今重昌弘
六代	昭和52年	4月	今井澄真子
七代	昭和53年	8月	今井澄真子
八代	昭和54年	4月	辻村明峻
九代	昭和55年	6月	植木克巳
	昭和56年	4月	植木克巳
	昭和58年	4月	植木克巳
	昭和60年	4月	植木克巳
	昭和62年	4月	植木克巳
十代	平成元年	4月	吉田昭
	平成3年	4月	吉田昭
	平成5年	4月	吉田昭
	平成7年	4月	吉田昭
	平成9年	4月	吉田昭

# 公民分館の目的と組織

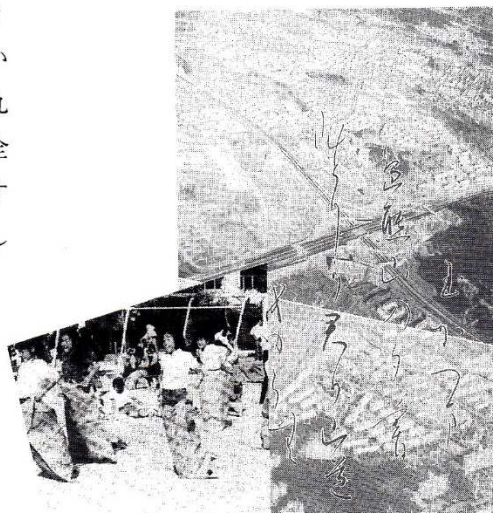
## 公民分館とは

公民分館は、各小学校区を基盤に設置され、公民分館講座や、体育祭、文化祭などの事業をとおして、ひとりひとりが大切にされる住み良い地域づくり、まちづくりに貢献する、市の社会教育機関である。



# 分館発足 30 年の集大成と伝統

昭和 44 年 10 月に発足した東丘公民分館もあしかけ 30 年を迎える節目の年になり、長い歴史と東町に於ける培われた尊い経験を初代猪古洋一氏より歴代分館長が脈々と引き継がれ第九代分館長植木克己氏より 20 年の歴史と伝統の集大成を地域全体で祝福されました。この輝かしい歴史を更に我々のものとするために社会教育の重要さと地域活性化へ向けて発信基地として責務を全うすることを目指した活動を継続してきました。



## ■平成元年度 (1989)

- 4 月 運営委員会・全体会  
春の講座開始 (ロマンドール・健康チェック)
- 5 月 東部ブロック公民分館協議会親善スポーツ大会
- 6 月 献血 (社協と共催)  
社会見学 (白鶴酒造・明石天文台・魚の棚)
- 7 月 分館だより発行 (No. 34号)  
人権学習講座《人権協・東丘小 P T A と共催》\* 部落差別問題
- 9 月 敬老のつどい《社協と共催》・秋の講座開始
- 10 月 第 21 回地区体育祭
- 11 月 文化祭 東部ブロック公民分館協議会親善スポーツ大会
- 1 月 分館だより発行 (No. 35号) ・囲碁将棋大会
- 3 月 運営委員会



## ■平成 2 年度 (1990)

- 4 月 運営委員会・全体会・春の 2 講座開始
- 5 月 東部ブロック公民分館協議会親善スポーツ大会
- 6 月 献血 (社協と共催) ・社会見学  
(檀原神宮・飛鳥寺・石舞台)
- 7 月 分館だより発行 (No. 36号)  
人権学習講座《人権協・東丘小 P T A と共催》  
\* 部落差別問題 国際識字年
- 8 月 盆踊り《連協と共催》
- 9 月 敬老のつどい《社協と共催》・秋の講座開始
- 10 月 第 22 回地区体育祭
- 11 月 文化祭
- 1 月 分館だより発行 (No. 37号)
- 2 月 囲碁将棋大会・運営委員会
- 3 月 運営委員会



## ■平成 3 年度 (1991)

- 4 月 運営委員会・全体会・春の講座開始
- 5 月 東部ブロック公民分館協議会親善スポーツ大会
- 6 月 献血 (社協と共催) ・社会見学 (二条城他)
- 7 月 人権学習講座《人権協・東丘小 P T A と共催》  
\* 子どもの人権問題
- 8 月 分館だより発行 (No. 38号) ・盆踊り《連協と共催》
- 9 月 敬老のつどい《社協と共催》・秋の 2 講座開始
- 10 月 第 23 回地区体育祭
- 11 月 文化祭
- 1 月 囲碁将棋大会
- 3 月 分館だより発行 (No. 39号) ・運営委員会



## ■平成4年度 (1992)

- 4月 運営委員会・全体会
- 5月 春の講座開始・東部ブロック公民分館協議会親善スポーツ大会・献血
- 6月 社会見学(近江八幡水郷・石山寺・木津福寿園お茶センター)
- 7月 人権学習講座《人権協・東丘小PTAと共催》\*子どもの人権問題
- 8月 盆踊り《連協と共催》
- 9月 敬老のつどい《社協と共催》・秋の3講座開始分館だより発行(No.40号)
- 10月 第24回地区体育祭
- 11月 文化祭
- 1月 囲碁将棋大会
- 2月 運営委員会
- 3月 分館だより発行(No.41号)・運営委員会



## ■平成5年度 (1993)

- 4月 運営委員会・全体会・春の講座開始・献血(社協と共催)
- 5月 東部ブロック公民分館協議会親善スポーツ大会  
社会見学(加西フラワーセンター・湯郷・岡山ワイナリー)
- 7月 人権学習講座《人権協・東丘小PTAと共催》\*部落差別問題
- 8月 盆踊り《連協と共催》
- 9月 豊中市公民分館協議会研究大会・敬老のつどい  
《社協と共催》・秋の講座開始分館だより発行(No.42号)
- 10月 第25回地区体育祭  
地域文化講座(第1回目)\*植物とバードウォッチング  
子どもまつり・伝承玩具づくり  
(東丘小PTAと共催)協力=伝承玩具研究会
- 11月 ふれあい広場《東丘社協15周年行事》に参加文化祭  
地域文化講座(第2回目)  
\*ちいさな秋のコンサート・フルーツとハーブの演奏  
地域文化講座(第3回目)  
\*心とからだは健康座・健康学講話・軽体操・ヘルシー料理  
地域文化講座(第4回目) 同 上  
地域文化講座(第5回目) 同 上
- 12月 餅つき大会《社協と共催》
- 2月 囲碁将棋大会
- 3月 分館だより発行(No.43号)・運営委員会



## ■平成6年度 (1994)

- 4月 運営委員会・全体会・春の3講座開始
- 5月 献血(社協と共催)・社会見学(姫路城・好古園・魚の棚)
- 6月 東部ブロック公民分館協議会親善スポーツ大会
- 7月 人権学習講座《人権協・東丘小PTAと共催》
- 8月 盆踊り《連協と共催》
- 9月 敬老のつどい《社協と共催》・秋の2講座開始分館だより発行(No.44号)
- 10月 第26回地区体育祭  
子どもまつり伝承玩具づくり(東丘小PTAと共催)
- 11月 文化祭
- 12月 グランドゴルフ大会・餅つき大会《社協と共催》
- 1月 囲碁将棋大会
- 2月 運営委員会
- 3月 分館だより発行(No.45号)・運営委員会



## ■平成7年度 (1995)

- 4月 サークル全体会・運営委員会・全体会・春の講座開始
- 5月 献血(社協と共催)・教頭先生歓送迎会  
社会見学(中野酒造・黒江町漆器館・マリナーシティ「吉宗展」)  
東部ブロック公民分館協議会親善スポーツ大会
- 7月 人権学習講座《人権協・東丘小PTAと共催》
- 8月 講演会 東丘小学校平和登校日  
「こころの平和の鐘をならそう」講師:東丘公民分館長  
盆踊り《連協と共催》

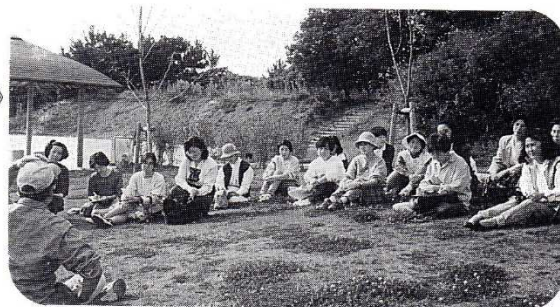




- 9月 敬老のつどい《社協と共催》・秋の2講座開始分館だより発行 (No.46号)
- 10月 第27回地区体育祭
- 11月 文化祭
- 12月 餅つき大会《社協と共催》・マジックショーと伝承遊び…  
ふれあいネットワークの協力
- 2月 囲碁将棋大会
- 3月 分館だより発行 (No.47号) ・運営委員会

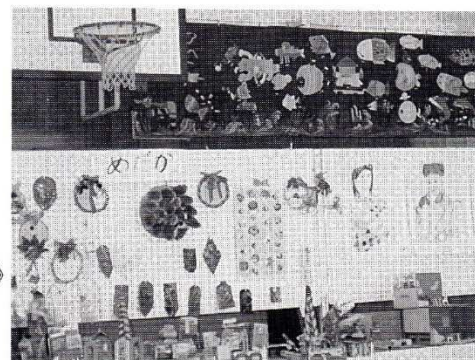
### ■平成8年度 (1996)

- 4月 サークル全体会・運営委員会・全体会・春の2講座開始
- 5月 献血 (社協と共催)・社会見学 (醍醐寺・信楽焼の里) 東町災害救急訓練  
東部ブロック公民分館協議会親善スポーツ大会  
家庭教育学級 (第1回目) \*講演会「ふりかえる魂の鼓動」  
青少年の悩みや生き方
- 6月 家庭教育学級 (第2回目)  
\*三老人会交流会/歓談・マジックと腹話術鑑賞・ゲーム
- 7月 家庭教育学級 (第3回目) \*ふれあいコンサート/大正琴・  
トランペット・バイオリン  
家庭教育学級 (第4回目) \*講演会「わたしと母とのみちのり」介護問題  
人権学習講座《人権協・東丘小PTAと共催》\*いじめ問題  
分館だより発行 (No.48号) ・  
分館サークルによる小学校の除草作業《東丘小学校PTAと共催》
- 8月 家庭教育学級 (第5回目)  
\*夏休み親子防災セミナー/防災ずきん縫い・腹話術による防災指導
- 9月 敬老のつどい《社協と共催》・秋の2講座開始  
第27回地区体育祭
- 10月 家庭教育学級 (第6回目) \*いもほりハイキング/行き先…上新田の芋畑  
家庭教育学級 (第7回目) \*親睦ソフトミニバレー大会
- 11月 文化祭【連協の消防フェアと同時開催】  
家庭教育学級 (第8回目) \*社会見学/京都大原三千院へバス2台にて
- 12月 餅つき大会《社協と共催》  
家庭教育学級 (第9回目) \*グランドゴルフ大会《東雲会と共催》  
家庭教育学級 (第10回目) \*クリスマスのフラワーアレンジメント講座
- 2月 囲碁将棋大会・運営委員会
- 3月 分館だより発行 (No.49号) ・運営委員会



### ■平成9年度 (1997)

- 4月 サークル全体会・運営委員会・全体会・春の講座開始
- 5月 東部ブロック公民分館協議会親善スポーツ大会  
社会見学 (近江上布館・彦根城・玄宮園・埋もれ木の舎)
- 7月 人権学習講座《人権協・東丘小PTAと共催》\*高齢者問題
- 8月 盆踊り《連協と共催》  
分館サークルによる小学校の除草作業《東丘小学校PTAと共催》  
分館だより発行 (No.50号) ・
- 10月 第29回地区体育祭・秋の講座開始
- 11月 文化祭・献血・グランドゴルフ大会・世代間交流
- 12月 餅つき大会《社協と共催》
- 2月 囲碁将棋大会・ゴミと環境問題の講演会
- 3月 分館だより発行 (No.51号) ・運営委員会



★平成元年度から平成9年度の分館活動の中には次の活動も毎年度実施  
役員会 文教委員会・体育委員会・広報委員会  
体育祭全体会 文化祭全体会  
夏・年末の防犯夜警に参加

### 豊中市立東丘小学校 児童数の推移 (隔5年調査・各4月現在)

昭和43年	484名
昭和48年	1,232名
昭和53年	1,364名
昭和58年	1,053名
昭和63年	745名
平成5年	497名
平成10年	248名

### 参 考

- 昭和41年4月 豊中市立東丘小学校開校  
(児童数0人)
- 昭和44年3月 同校の体育館竣工
- 昭和45年7月 同校のプール完工

社会見学による  
地方文化の学習



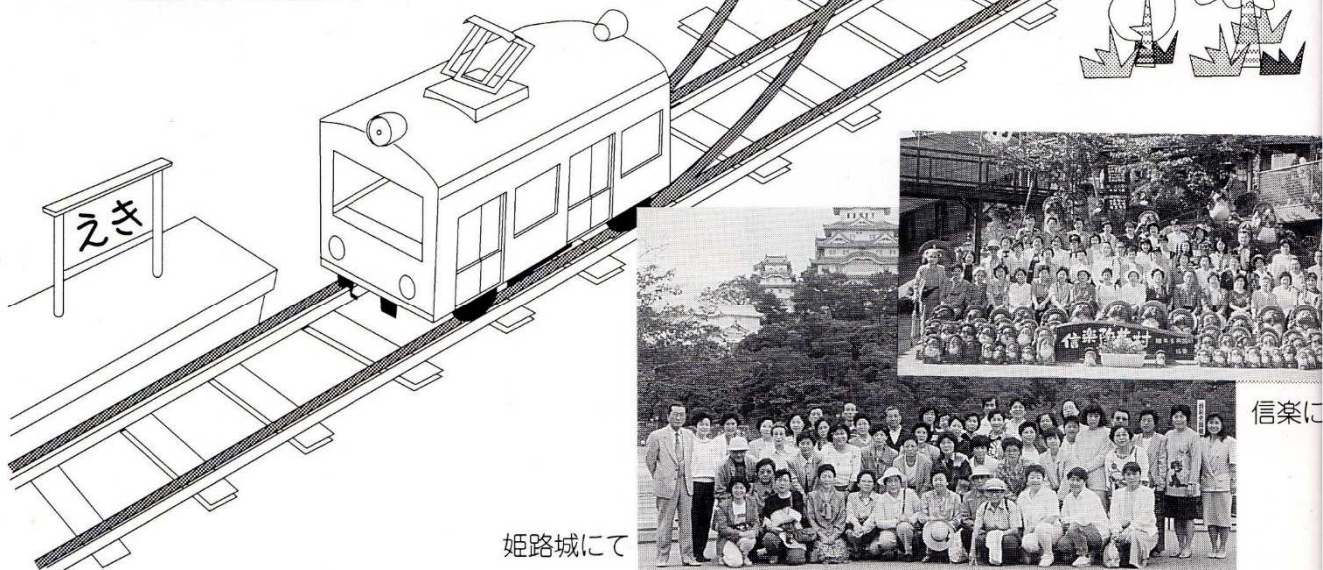
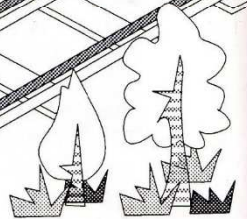
和歌山マリーナシティにて



加西フラワーセンターにて



醍醐寺の三宝院にて



姫路城にて



信楽に

# 活動のおもいで

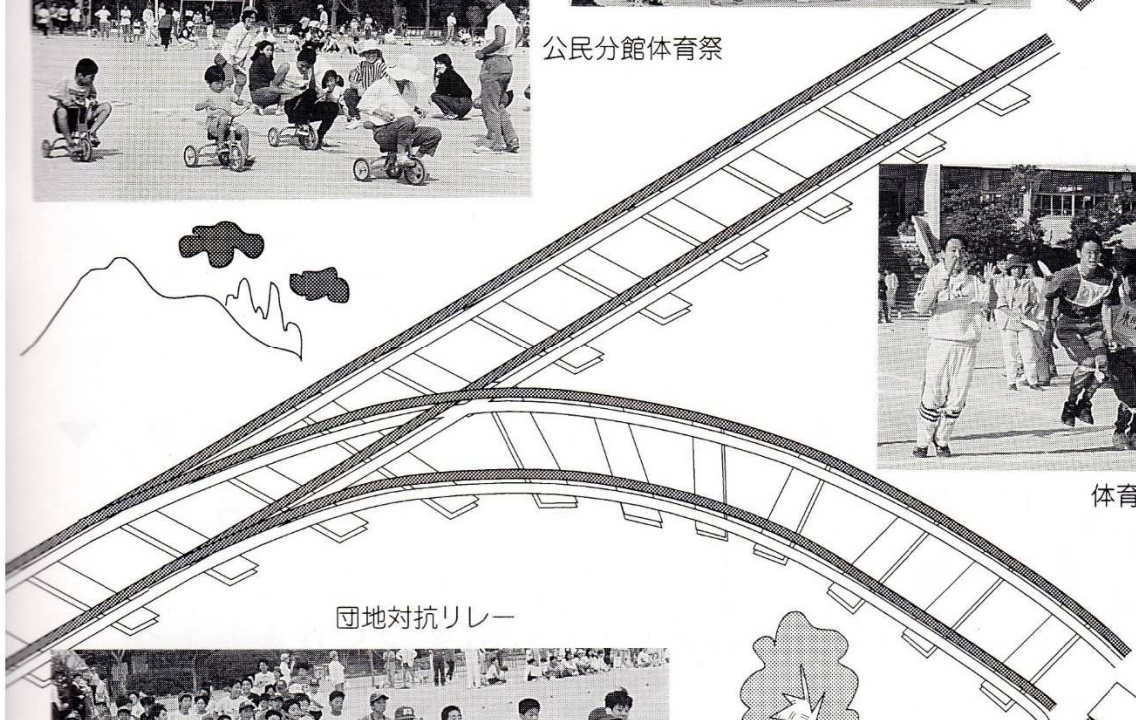
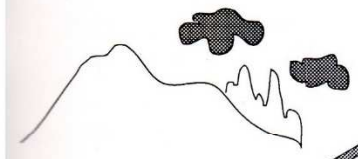
生涯学習に向かって



料理講座

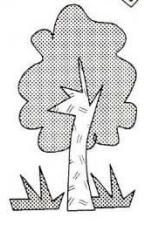


公民分館体育祭



体育祭

団地対抗リレー



ビンゴゲーム



地域住民の  
健康増進へ



団地対抗・台風の目競技



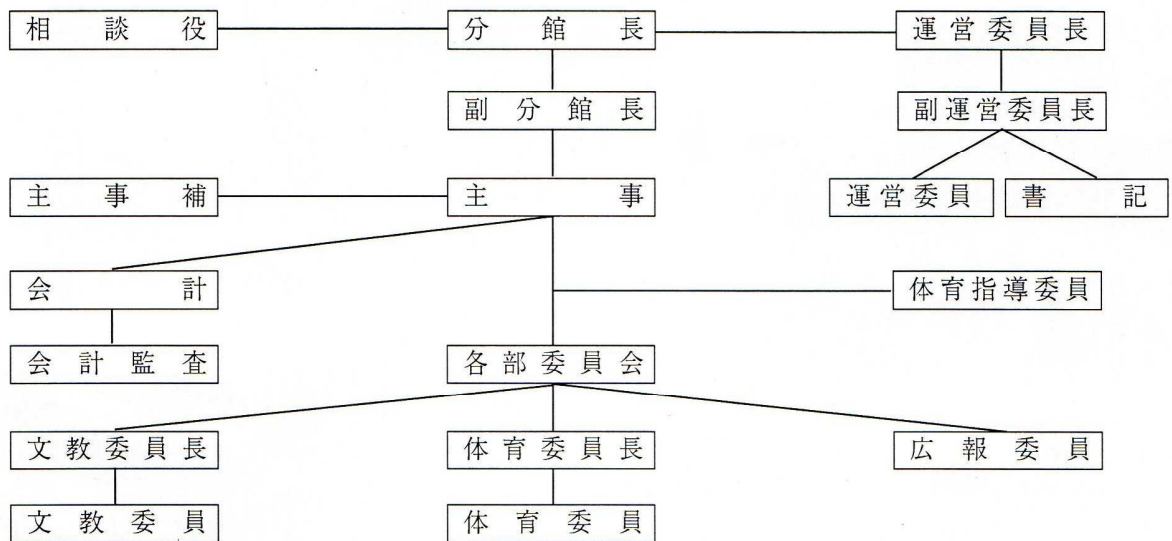
和太鼓演奏



アソカ幼稚園児による団演

# であい ふれあい 学びあい

## 東丘公民分館の組織図



1. 人権を尊重し、明るい町をつくりましょう。
2. 教養を高め、心を豊かにしましょう。
3. 力を合わせ、清潔で美しい町をつくりましょう。

### 1998年(平成10年)分館サークル表

サークル名	活動日時	活動場所	会費	代表者
東香会(ペン習字)	第1・2・3(水) 10時~12時	公民分館室	1,800円/入会金1,000	前田登志子 B3-304 ☎832-0521
花みずき(カラオケ)	毎週(木) 19時~21時	公民分館室	1,000円/入会金不要	山下 幸子 B18-208 ☎832-3950
東町川柳サークル	第4(土) 13時30分~16時30分	公民分館室	500円/入会金不要	桑田砂輝守 A17-206 ☎832-7366
東丘園芸クラブ	季節に応じて適宜	東丘小のプール南側	不要/入会金不要	玉利 昭雄 B11-202 ☎832-4772
アクティブⅡ(健康体操)	第1・3・4(土) 19時30分~20時30分	東丘小内多目的教室	2,000円/入会金2,000	岩田万佐代 B2-210 ☎831-4153
エースト(社交ダンス)	毎週(火) 19時~21時	東丘小内多目的教室	1,000円/入会金1,000	吉留多美子 B10-107 ☎835-1431
ボールルーム(社交ダンス)	毎週(水) 19時~21時	東丘小内多目的教室	500円/入会金2,000	城 重 博 B20-107 ☎872-2027
剣友会(剣道)	毎週(日)(木) 18時15分~21時	東丘小体育館	1,000円/入会金不要	長谷川みゆき B4-405 ☎834-7990
千里東丘少年野球部	毎週(日)と祝日 13時~17時	東丘小校庭	1,000円/入会金不要	葛 原 功 A26-206 ☎831-5567
プレイメイツ(男子ソフト)	毎週(日)と祝日 8時~10時30分	東丘小校庭	2,000円/入会金不要	兼城 朝明 C26-107 ☎833-1457
分館バトミントン	毎週(水) 19時~21時 第2・4(日) 14時~17時	東丘小体育館	3ヶ月2,000円/入会金不要	戸田喜美代 A21-205 ☎832-4710
千里東丘ソフト(男子ソフト)	毎週(日) 10時30分~13時	東丘小校庭	1,000円/入会金不要	福本 彰 B3-501 ☎834-6167

※以上、各サークルとも会員募集をしています。サークルについてのお問い合わせ、お申し込みは、上記の代表者までお願いいたします。

## 東丘社協創立 20 周年に際し



東丘校区社会福祉協議会 初代会長 西村 桂一

まずは、東丘校区社会福祉協議会 20 周年おめでとうございます。会長より創立当時のことを書いてくれと連絡がありました。なにごと二昔も前のことであり、思い出すまま書きつらねます。

昭和 51 年 5 月頃、民生委員地区委員長会議の席上、市より各校区に社会福祉協議会を作り、民生委員と共に車の両輪となり福祉の充実を図られるよう要請がありました。

豊中市社協も遠からず法人化に向かって進み、強化するということでありましたので、早速校区民生委員会にかけ、昭和 51 年 7 月 17 日に、桜ヶ丘会館にて各団体代表および自治会長に集まっていたさき、第 1 回準備委員会を開き市の意向を説明いたしました。ところが、現在民生委員が行っていて、足りている。足りなければ応援するとのことで、会の結成に至りませんでした。

その後も、皆が集まる度ごとに、高齢化が急速に進んでおりその必要性を話し、かつ、補助金も出ることもあり、それだけでも、住区の福祉を高めることが出来ると、話し続けました。

2 年余りたった昭和 53 年 6 月 17 日に、お前が会長を兼務するならよいという条件で作ることが、決定致しました。

理想は民生委員と車の両輪となって、相補って行くことですが、過渡期であり、まづ作る事が先決と考え、8 月 27 日、今西係長列席のもとで発会式を行った次第です。

その後は、理想どおり民生委員以外の方が、会長に就かれ、益々福祉の充実にも努められ、模範校区になっていると聞き及び、喜ばしい限りです。また、独居老人の会、八千代クラブを結成され、独居老人の給食も、毎月行っておられること等、役員および民生委員の努力のたまものと深く感謝しています。

## 東丘校区社協創立 20 年に



東丘校区社会福祉協議会 前会長 今井 澄真子

「社協」と言うと、「写経」と言われ、「社会福祉協議会」と言っても、どんな事をする所かと言われていた時から、今は大分理解されてきました。社協創立から、5 年目に東丘社協の理解と認識を高めるため、「社協だより」を発行しました。この新聞によって、福祉活動は徐々に住民に理解されるようになったと思います。

社協活動の源となる財源は、3 段階に変わっています。当初は、補助金 10 万円に、「敬老の日」交付金 5 万円で、収入は 19 万円程でした。これでは十分な活動が出来ないので、東丘自身で、300 円の会費制をつくりました。3 年程して、豊中市社協が賛助会費制（500 円、半額還元）を作ったので、東丘の会費制は止めました。

共同募金や給食は、東丘社協の前から民生委員だけでしていました。材料の安い所を探して、給食をしていました。社協と民生は車の両輪として協力して活動をするということで、社協の事業に移しました。

「健康づくり推進員」制度は、1986 年（昭和 61 年）豊中市から要請がありましたので、民生委員中心で

つくり、住民のため、献血、ガン検診、健康教室など、現在行っている事業が始まりました。

1983 年（昭和 58 年）会長になられた辻村明峻さんは、何でも積極的に行う人でした。豊中市社協で検討した事は、すぐ引き受けてきて、すぐにやれということで、福祉活動を拡大していき、民生委員の皆さんは苦勞されましたが、現在の東丘社協の活発な活動の源を作った人です。惜しい人を若くして亡くしました。

独居老人の会「八千代クラブ」も、辻村さんが、会食の時、市社協から説明にきてもらい、作りあげました（昭和 62 年 7 月 24 日）。「八千代」という名前は、当時日本の最長老でした、泉重千代さんの名前から、「八千代」を作り、ハイカラだからと「クラブ」を付けました。「クラブ」は、東丘だけです。

創立 15 年目に、社会福祉の理解と、関心を高めようため、「ふれあい広場」を開催しました。小学校の体育館や運動場をいっぱい使って、色々な展示や体験コーナー、お楽しみコーナーで楽しみました。

最後に、皆さん初心を忘れずに、身体に気をつけてご活躍ください。東丘社協の一層の発展をお祈りします。

# 東丘社協創立20年を迎えて

東丘校区民生児童委員長 岸畑 美津恵



東丘校区社会福祉協議会20周年おめでとうございます。創立当初から携わってきました私は、初代西村会長の結成までのご苦労が思い起こされます。この20年、歴代の会長が、社会情勢に対応して、年々事業を拡大し、福祉向上に尽くし、築き上げられました。東丘校区は、現在では、模範的なモデル校区となりました。

私が民生委員になった当時は、東町には若い元気な人々と、子供たちの声で充ちていました。民生委員の仕事も割合暇でした。それから20数年子供たちは少なくなり、お年寄りが目立つようになりました。私自身もそのお仲間入りしたわけです。

給食活動は、昭和54年、当時民生委員の、流郷さん、柳沢さんらの協力で、圧力鍋を使い、山菜おこわを作りました。当時、女性民生委員は少なく、器具も十分でなかったので、家から鍋、釜等の道具を持ち寄り、改造前の狭い台所で作っていました。前民生委員長の今井さんが、お節句の3月も作ろうとチラシずしを作り、2回給食になりました。出来

た食事を配る時は、お年寄りと心からお話のできる良い機会です。

会長だった辻村さんが、月1回給食にしようと言われ、8月と12月を除き、作るようになり、現在にいたっています。沼田さんと20数年、民生委員をやりながら、手作り給食を事故なく作り続けられたのは、作って下さる皆さんの努力のお陰だと、喜んでいきます。最近では、給食ボランティアの方も、十数人に増え、賑やかに作らせて頂いています。

東丘社協が結成された当初から、民生児童委員は全員が理事として、活動致しております。近年の少子高齢化による新しい要望に対応するため、「小地域ネットワーク事業」や「介護保険」などが開始されることになりました。社協と民生委員は、益々協力し、車の両輪となって地域のニーズに応え、地域福祉活動の充実をめざし、一層住みよい東町でありますように努力を重ねたいと思っています。



# 東丘校区社会福祉協議会20年のあゆみ

## 1978年度 (昭和53～54年)

- 8月27日 東丘社会福祉協議会 発足  
初代会長 西村桂一氏
- 9月 敬老の集い
- 10月 共同募金
- 10月 地区体育祭参加
- 12月 ねたきり老人友愛訪問

## 1979年度 (昭和54～55年)

- 7月21,28日、8月4,11日 夏の夜警に協力
- 8月20-22日 児童黒四ダム招待旅行
- 8月25,26日 地区盆踊り大会協力
- 9月 15日 敬老の集い
- 10月 14日 地区体育祭に協力
- 10月 20日 共同募金集計 331,908円
- 10月 20日 児童芋掘り参加
- 12月 16日 ねたきり老人友愛訪問
- 12月29-30日 歳末夜警に協力

## 1980年度 (昭和55～56年)

- 9月 15日 敬老の集い
- 10月 18日 児童芋掘り参加
- 10月 25日 共同募金集計 348,371円
- 10月 26日 地区体育祭に協力
- 11月 15日 一人暮らし老人の給食
- 12月 14日 ねたきり老人友愛訪問
- 12月 広報誌「ひがしまち」発行協賛
- 12月28-30日 歳末夜警の協力

## 1981年度 (昭和56～57年)

- 7月 12日 映画「みょうが村見聞記」鑑賞
- 9月 3日 独居老人への給食
- 9月 13日 敬老の集い
- 10月 18日 地区体育祭
- 10月 31日 共同募金集計 366,165円
- 11月 5日 児童芋掘り参加
- 12月 16日 ねたきり老人友愛訪問
- 3月 2日 独居老人給食

## 1982年度 (昭和57～58年)

- 5月 28日 献血 採血者95人
- 9月 19日 敬老の集い
- 10月 8日 独居老人への給食 (22人)
- 10月 15日 芋掘り参加 東丘小1年172人、先生4人
- 10月 24日 共同募金集計 360,821円
- 12月 ねたきり老人友愛訪問
- 3月 4日 独居老人への給食(19人)

## 1983年度 (昭和58～59年)

- 4月 15日 東丘校区「社協だより」創刊号発行
- 5月 28日 献血 採血者89人
- 9月 15日 敬老の集い
- 9月 26日 独居老人への給食 山菜おこわ26人分

### 福祉連絡協議会発足のよびかけ

昭和51年7月12日  
各位 発起人代表  
東丘地区民生委員会  
委員長 西村 桂一

東丘校区福祉連絡協議会(仮称)準備委員会について

初夏の候 貴殿におかれましてはますますご健祥のこととお慶び申し上げます。(略)

さて、私達の日常生活を見ますときに経済成長がもたらした生活構造の変化は、住民生活のうえに数多くの障害と不安をもたらしておりますが、福祉優先の関心が高まると共に地域における連携活動によって地域の問題を解決しようとする気運が高まっております。

一方、地方自治体と住民参加の市政を強め人間性回復のための新しい生活環境づくりの動きが生まれております。各位におかれましては従来からそれぞれの組織活動を通じて地域福祉の向上に尽力されてこられました。地域の団体が一体となりより一層地区住民の幸せを高め、生活環境の改善を図り、住みよい地域社会づくりに邁進するため、標記の準備委員会を開催させて頂きたく存じますので、万障繰り合わせご出席賜りますようご案内申し上げます。

記

日時 昭和51年7月17日(土)  
午後7時～  
場所 桜ヶ丘会館



- 10月 29日 芋掘り 東丘小1年160人  
新千里南町農園にて
- 10月 30日 共同募金 502,643円
- 12月 ねたきり老人(5人)友愛訪問
- 12月 29日 「社協だより」No. 2発行
- 3月 5日 独居老人への給食 ちらしずし27人分
- 3月 27日 豊中市社会福祉協議会-法人格  
取得記念講演会 (市民会館)

**1984年度 (昭和59~60年)**

- 6月 23日 献血 採血者83人
- 9月 15日 敬老の集い 老人出席者160人
- 9月 28日 独居老人への給食 34人分
- 10月 27日 芋掘り 東丘小1年生全員参加
- 10月 28日 共同募金集計 536,239円
- 12月 16日 ねたきり老人(6人)友愛訪問
- 2月 17日 規約改正により会費制の導入
- 3月 15日 独居老人への給食 34人分
- 3月 「社協だより」No. 3発行

**1985年度 (昭和60~61年)**

- 4月 20日 第一回市社協バザーに協力
- 5月 25日 献血 採血者58人
- 9月 15日 敬老の集い 老人出席195人
- 9月 27日 独居老人への給食 36人分
- 10月 26日 芋掘り 東丘小1年生参加
- 10月 27日 共同募金集計 666,048円
- 11月 1日 市民の福祉アンケート実施 \*(30~31ページ参照)
- 12月 20日 ねたきり老人 (8人) 友愛訪問
- 3月 7日 独居老人への給食 34人分
- 3月 20日 「社協だより」No. 4発行

**1986年度 (昭和61~62年)**

- 6月 7日 献血 採血者74人
- 9月 14日 敬老の集い 参加者200人
- 9月 19日 独居老人への給食 31人分
- 10月 16日 三老人会社会見学 56人参加  
能勢方面への栗ひろい
- 11月 8日 芋掘り 東丘小1年生他162人
- 12月 7日 市社協バザー 25名協力
- 12月 16日 ねたきり老人 (10人) 友愛訪問
- 3月 6日 独居老人への給食 35人分

**1987年度 (昭和62~63年)**

- 5月 30日 献血 採血者68人
- 7月 24日 独居老人会食 独居老人会結成
- 9月 5日 「社協だより」No. 5発行
- 9月 15日 敬老の集い 参加者270人
- 9月 25日 独居老人給食 山菜おこわ33人
- 10月 31日 芋掘り ひまわり子供会60人
- 11月 8日 共同募金集計 668,680円
- 11月 9日 三老人社会見学  
フラワーセンター他 53人
- 11月 29日 市社協バザー

**賛助会費をめぐる社協の規約改正**

(経費の項)

発足当時の規約(経費)

第9条 この会の運営に要する経費は助成金・寄付及びその他の収入によってこれにあてる。



1985年度より実施の規約(経費)

一 会費制  
第9条 この会の運営に要する経費は会費・助成金・寄付及びその他の収入をもってこれにあてる。

第10条 この会の会費は年額一口300円とし年度始めに納入するものとする。



現行(1988年度より)の規約(経費)

一 賛助会費制  
第11条 本会の運営に要する経費は、賛助会費の返還金、助成金、寄付金、及びその他の収入をもってあてる。

第12条 本会は賛助会費(会費一口、500円)、特別賛助会費(会費一口、5000円)を募集し、その会費を(社)豊中市社会福祉協議会に納入し、その返還金を受ける。  
(説明: 現行では納入の次年度に納入額の半額の返還を受けている。)





## 社協予算規模の拡大

### 1979年度決算

収入	
繰越金	30,975円
助成金（市社協）	100,000円
交付金（敬老の日）	50,000円
共同募金還付金	16,000円
老人を守る福祉の町づくり資金	20,000円
収入合計	217,075円

### 支出

敬老の集い費用	40,000円
地区体育祭助成	50,000円
防犯協議会助成	20,000円
東寿会、東雲会助成	20,000円
ねたきり老人見舞い	12,000円
会議費	1,520円
会場借上料	1,200円
消耗品費	1,600円
交通費	1,000円
慶弔費	3,000円
次期繰越金	66,725円
支出合計	217,075円

### 1985年度決算

収入の部	
繰越金	153,437円
市社協 助成金	100,000円
敬老の集い交付金	89,000円
協同募金事務費	27,143円
献血促進協議会	10,000円
老人を守る福祉の町づくり	20,000円
広報誌広告料	20,000円
会費（1210口）	362,000円
利息	4,794円
収入合計	786,374円

### 支出の部

敬老の集い	70,696円
献血活動費	9,600円
社協だより出版費	54,000円
ねたきり老人見舞い	24,000円
独居老人給食	33,717円
三老人会助成金	30,000円
保険料	10,500円
高齢老人記念品	20,000円
育成会助成金	4,000円
新年交歓会寄付	4,700円
会議費	19,326円
慶弔費	5,000円
事務費	16,300円
福祉基金積立金	180,000円
次期繰越金	304,535円
支出合計	786,374円

12月	22日	ねたきり老人（10人）友愛訪問
12月	31日	独居老人給食 29人分
2月		市社協による賛助会費制の導入
3月	8日	独居老人給食 34人分
3月	31日	健康教室 健康づくり推進会と共催 62人参加

### 1988年度（昭和63～平成元年）

6月	4日	献血 採血者75人
6月	23日	独居老人給食 会食35人参加
7月	30日	「社協だより」No. 6発行
9月	18日	敬老の集い 参加者215人
9月	22日	独居老人給食 40人分
10月	13日	三老人会社会見学 攝津峡 60人参加
10月	21日	独居老人懇談会 参加32人
10月	29日	青少年育成芋掘り 東丘小1年生120人と大人13人
11月	4日	健康教室 成人病について 小池先生 56人参加
11月	10日	独居老人給食 42人分
11月	27日	市社協バザー 千里公民館
12月	21日	ねたきり老人（10人）友愛訪問
12月	31日	独居老人給食 おせち料理28人
1月	20日	独居老人給食 50人分
2月	25日	「社協だより」No. 7発行
3月	1日	健康教室 食生活について
3月	3日	独居老人給食 50人分

### 1989年度（平成元～2年）

独居老人への給食サービス（会食）2回		
4月	21日	43人、6月30日 46人
独居老人への給食サービス（配食）9回		
5月	25日	48人、7月21日 51人
9月	22日	41人、10月20日 45人
11月	17日	48人、12月31日 24人
（おせち料理）、1月25日 46人、		
2月	22日	45人、3月22日 48人
6月	3日	献血 42人採血
9月	15日	敬老の集い 220人参加
10月	13日	独居老人懇談会 講演と懇談
10月	26日	健康教室 成人病と日常生活 鷺見武彦先生
11月	4日	芋掘り 東丘小1年生と先生119人参加
11月	5日	「社協だより」No. 8発行
11月	21日	三老人会社会見学 ひらかた 菊人形とゆーぷる 42人参加
12月	19日	ねたきり老人（7人）友愛訪問
2月	4日	自治会長と懇談会 参加17名
3月	1日	「社協だより」No. 9発行

### 1990年度（平成2～3年）

独居老人への給食サービス（会食）2回		
4月	19日	46人、7月19日 49人

- 独居老人への給食サービス（配食） 8回
- 5月 25日 51人、6月22日 52人
  - 9月 21日 52人、10月26日 54人
  - 11月 20日 54人、1月24日 51人
  - 2月 21日 52人、3月21日 54人
  - 4月 24日 健康教室 市保険センターで調理
  - 6月 9日 献血 87人
  - 9月 16日 敬老の集い 260人参加
  - 10月 20日 芋掘り 東丘小1年生と社協  
理事110人参加 池田農園
  - 10月 25日 「社協だより」No. 10発行
  - 11月 10日 三老人会社会見学 三田方面42人参加
  - 11月 16日 独居老人と児童との交流会  
東丘小学校調理室 54人
  - 11月 29日 独居老人会懇談会 23人参加
  - 12月 21日 ねたきり老人(9人)友愛訪問
  - 2月 3日 自治会長との懇談会
  - 3月 1日 「社協だより」No. 11発行

#### 1991年度（平成3～4年）

- 独居老人への給食サービス（会食） 2回
- 4月 26日 49人、7月26日 48人
- 独居老人への給食サービス（配食） 9回
- 5月 24日 52人、6月28日 53人
  - 9月 19日 54人、10月17日 55人
  - 11月 21日 55人、12月31日
- おせち料理
- 54人、1月23日 54人
  - 2月 21日 53人、3月19日 47人
  - 5月 25日 献血 56人参加
  - 7月 1日 「社協だより」No. 12発行
  - 9月 15日 敬老の集い 参加320人
  - 11月 6日 三老人会社会見学 海遊館と  
大阪湾めぐり 参加50人
  - 11月 14日 健康教室 胃がん検診 72人
  - 12月 6日 ねたきり老人(9人)友愛訪問
  - 12月 22日 もちつき大会 東丘小児童など45人
  - 3月 1日 「社協だより」No. 13発行

#### 1992年度（平成4～5年）

- 独居老人への給食サービス（会食） 2回
- 4月 24日 47人、7月31日 60人
- 独居老人への給食サービス（配食） 9回
- 5月 22日 56人、6月26日 64人
  - 9月 18日 66人、10月23日 65人
  - 11月 27日 63人、12月31日
- 希望者24人（おせち料理）
- 1月 22日 70人、2月16日 61人
  - 3月 25日 65人
  - 5月 30日 献血 参加61人
  - 7月 10日 健康教室 講演、血圧測定、  
検尿、参加51人
  - 7月 15日 「社協だより」No. 14発行
  - 9月 13日 敬老の集い 参加263人

七しんじ  
けいこは いもほりが まいに  
ち あって ほしいと おもひ  
ます。へんを おしりか けてキ  
てすく おもしろ かったで  
す。いもが 24こも てるんじ  
しか もらえ なあつたよ。  
せんせい は あつたよと おも  
うけど、けいこは ほれたよと  
もてがえりたかたです。

いもほり

きょう いもを やきいもにしてもらって たべました。  
しおとつたから おいしかったです。  
木村 ゆき



- 10月9、19日 健康教室 胃がん検診 参加114人
- 10月 31日 芋掘り 東丘小1年生他92人
- 11月 5日 三老人会社会見学 白鶴酒造と  
神戸港めぐり 参加40人
- 11月 13日 ホットケーキ交流会  
東丘小児童と独居老人 38人
- 12月 12日 もちつき大会  
東丘小全児童と有志 654人
- 12月 18日 ねたきり老人(6人)友愛訪問
- 2月 1日 「社協だより」No. 15発行



### 1993年度 (平成5~6年)

- 4月 3日 献血 参加56人
- 独居老人への給食サービス(会食) 2回
- 4月 22日 45人、7月23日 32人
- 独居老人への給食サービス(配食) 9回
- 5月 21日 58人、6月18日 59人
- 9月 24日 57人、11月26日 60人
- 12月 31日 希望者22人(おせち料理)
- 1月 21日 59人、2月18日 64人
- 3月 18日 66人
- 7月 10日 健康教室「歯を10年長持ちさせる方法」  
参加39人
- 8月 15日 「社協だより」No. 16発行
- 9月 15日 敬老の集い 310人参加
- 10月 23日 芋掘り 東丘小1年生他76人
- 10月 26日 三老人会社会見学 神戸「しあわせの村」
- 11月 3日 社協結成15周年記念  
東丘ふれあい広場(東丘小校庭、体育館)  
参加600人
- 12月 11日 もちつき大会 東丘小児童 他430人参加
- 12月 18日 ねたきり老人(7人)友愛訪問
- 2月 1日 「社協だより」No. 17発行



### 1994年度 (平成6~7年)

- 独居老人への給食サービス(会食) 2回
- 4月 15日 36人、7月22日 30人
- 独居老人への給食サービス(配食) 9回
- 5月 20日 68人、6月24日 65人
- 9月 22日 67人、10月28日 67人
- 11月 24日 66人、12月31日 19人
- (おせち料理、業者)、1月27日 70人
- 2月 14日 69人、3月24日 70人
- 5月 28日 献血 参加60人
- 7月 7日 健康教室 講演「骨粗しょう症  
について」57人参加
- 7月 10日 「社協だより」No. 18発行
- 9月 18日 敬老の集い 参加250人
- 10月 15日 芋掘り 東丘小1年生他76人
- 10月 21日 独居老人と児童との交流会 35人参加
- 10月 24日 老人会社会見学 須磨離宮と  
須磨水族館 35人参加
- 12月 10日 もちつき大会 東丘小児童 他 470人参加

#### ふれあい広場

今日は東丘で、ふれあい広場があった。片岡先生から、聞いていたので、一度行ってみたい思っていた。行ってみると、けっこう楽しかった。いろいろあった。12時から始まるピンゴゲームの紙をもらいにいった。「紙は一枚だけ」といわれたけど、ぼくたちはそんなこと無私するように、2、3枚もらった。

12時になるまでは、2時間ほどあったので、コーナーにいった。「ガールスカウト61団という所に行く」と、ゲームができた。そして、手話を教えてもらった。

最後に車椅子体験をやりました。車椅子を使っている人が、どれだけ苦労しているかが本当によくわかりました。

今日一日で色々な体験ができて、本当によかったです。

- 12月 15日 ねたきり老人(9人)友愛訪問  
 2月 5日 「社協だより」No. 19発行  
 2月 17日 健康教室 講演  
 「ときめき更年期」38人参加  
 2月 25日 毎日テレビ「現代を生きる」で  
 当協議会の活動・もちつき、車いす体験、  
 給食などを通しての東町の人たちの心のふ  
 れあいが放映された。



### 1995年度(平成7~8年)

例；[健康]は健康づくり推進委員会と共催

独居老人への給食サービス(会食)2回

4月 20日 (八千代クラブ総会)

7月 20日 (血圧測定、歌体操)

独居老人への給食サービス(配食)9回

5月 26日、6月 24日、9月 22日

10月 27日、11月 24日、

12月 31日 (おせち料理)、1月 26日

2月 23日、3月 21日

5月 20日 献血 [健康、公民分館]

6月 2日 八千代クラブ社会見学

一休寺、京都フラワセンター等

6月 9日 福祉の町づくり講座

「老人介護の心構え」と介護の

実技(市保健センター、岡本看護婦)

6月 17日 福祉の町づくり講座

「地域福祉と社会福祉協議会の役割」

(市社協 安田次長)

ビデオ「支え合う確かな手」

7月 1日 福祉の町づくり講座

「福祉の町づくりとボランティア」

(吉田芳子氏)

6月 21日、7月 5日、19日 福祉の町づくり講座

特別養護老人ホーム・

豊中グリーンヒル見学

7月 20日 「社協だより」No. 21発行

7月 28日 健康教室「壮年期からの健康づくり」

田村保健婦 [健康]

9月 15日 敬老の集い

10月 3日、9日 乳ガン検診(158人) [健康]

10月 12日 老人と児童との会食

(スイートポテト、東丘小家庭科教室)

10月 17日 老人会社会見学 海南温山荘、淡島神社

10月20、34、25日 胃がん検診(136人) [健康]

10月 21日 芋掘り 東丘小1年生児童

上新田 池田農場

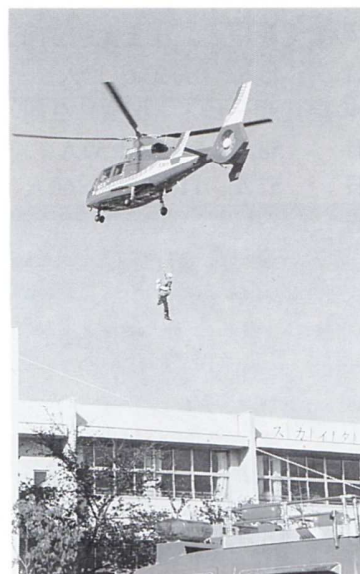
12月 9日 もちつき大会

12月 18日 ねたきり老人友愛訪問

2月 4日 「社協だより」No. 21発行

2月 15日 子宮ガン検診(上野坂医療保健

センター、他地区合同、105人) [健康]



毎日テレビの放映



「現代を生きる」

2月25日(土) 午前7.00~7.30

府教育委員会企画提供番組

もちつき、車いす体験、給食などを通して、老人、  
 子供、町の人達の心のふれあいを考えます。

## 1996年度（平成8～9年）

給食サービス	（会食）2回
4月 19日	（八千代クラブ総会）
7月 19日	（ビンゴゲーム）
給食サービス	（配食）9回
5月 24日、6月 21日、9月 27日、	
10月 25日、11月 22日、	
12月 31日	（おせち料理）、1月 24日、
2月 21日、3月 21日	
5月 25日	献血〔公民分館〕
6月 2日	三老人会交流会〔公民分館〕
6月 4日	八千代クラブ社会見学 京都市南宮、三井寺円満院
7月 27日	健康教室 介護のお話 五本上先生〔公民分館、健康〕
8月 10日	「社協だより」No. 22発行
9月 16日	敬老の集い
10月 1日	乳がん検診〔健康〕
10月 4日	肺がん・大腸ガン検診、 市民健康診断〔健康〕
10月 15日	老人会社会見学 金閣寺、しょうざん
10月 18日	健康教室 腰痛の予防 栗田正憲先生〔健康〕
10月23、30、31日	胃がん検診〔健康〕
11月 16日	芋掘り 東丘小1年生児童、 上新田池田農場
11月 29日	お手玉づくり（児童とお年寄の 交流会、東町会館）
12月 14日	もちつき大会 〔公民分館、健全育成会〕
12月 20日	ねたきり老人友愛訪問
2月 9日	「社協だより」No. 23発行
3月 17日	子宮ガン検診 （上野坂医療センター）〔健康〕

## 1997年度（平成9～10年）

給食サービス	（会食）2回
4月 25日	（八千代クラブ総会）
7月 18日	（八千代クラブ臨時総会）
給食サービス	（配食）9回
5月 23日、6月 20日、9月 26日、	
10月 24日、11月 27日、	
12月 31日	（おせち料理）、
1月 30日、2月 26日、3月 20日	
6月 10日	八千代クラブ社会見学 京都刺繍館、平安神宮
6月 28日	第一回ボランティア講座 ボランティア活動の取組、心構え
7月 10日	健康講座 腰痛予防の話〔健康〕
7月 20日	「社協だより」No. 24発行
8月 20日	豊寿荘の盆踊りに参加
9月 15日	「敬老の集い」台風のため中止
9月 30日	老人会社会見学 草津宿本陣、琵琶湖博物館
10月 1日	乳がん検診〔健康〕

## 1997年決算

### 収入の部

助成金（市社協、ひとり暮らし老人の会、 老人守る福祉の町づくり、広報誌活動費、 小地域ネットワーク）	297,800円
補助金（老人給食サービス、老人クラブバス旅行 補助金、調理器具補助金）	205,100円
交付金（敬老の集い、献血推進協議会）	193,000円
賛助会費還元金	578,250円
事業収入（給食利用者負担金、広報誌広告料 盆踊り古本売上）	204,230円
寄付金	30,000円
共同募金事務費	30,488円
雑収入（利息その他）	32,898円
収入合計	1,758,970円

### 支出の部

独居老人給食サービス	331,245円
献血活動	23,025円
敬老の集い	72,111円
老人会 社会見学	116,071円
もちつき大会	39,407円
ねたきり老人友愛訪問	16,170円
世代間交流	1,575円
八千代クラブ研修費	150,019円
社協だより発行費	198,525円
小地域ネットワーク	30,318円
独居老人会、老人会助成	77,800円
会議費	38,101円
会場費	10,400円
通信連絡費	33,030円
雑費	64,917円
備品	73,601円
事務費	52,144円
次期繰越金	430,511円
支出合計	1,758,970円



- 10月 23日 健康教室  
現代病・アトピーの話 [健康]
- 10月 25日 第二回ボランティア講座  
ボランティア体験談
- 10月 27、30、31日 胃がん検診 [健康]
- 11月 3日 献血・文化祭 [公民分館、健康]
- 11月 19日 芋掘り 東丘小1年生児童、  
上新田池田農場
- 11月 29日 小学生児童とお年寄りとの交流会  
昔のおもちゃの遊び
- 12月 13日 もちつき大会  
[公民分館、健全育成会]
- 12月 20日 ねたきり老人友愛訪問
- 1月 25日 「社協だより」No. 25発行
- 3月 23日 子宮ガン検診  
上野坂医療センター健康]
- 3月 28日 第三回ボランティア講座  
(介護ビデオ 4巻上映)

その他 ボランティア部会の活動として、豊寿荘の喫茶室へのボランティア派遣、小地域ネットワーク活動の開始などを当年度中に行った。



ひがしよか小学校を  
(ふく田なお)ねこくニ

子供達のお礼の作文

## 東丘社協は 皆様の善意で活動しています

### 東丘社協の福祉活動

- ◎ ふれあい給食サービス (年間10回)
  - ◎ ひとり暮らし老人の会へ支援
  - ◎ 新聞「社協だより」発行 (年2回)
  - ◎ 敬老の集い (9月15日)
  - ◎ 友愛訪問
  - ◎ 健康教室 (健康づくり推進員会と共催)
  - ◎ 各種ガン検診  
(健康づくり推進員会と共催)
  - ◎ いもほり (東丘小学校1年生と老人会と)
  - ◎ もちつき大会 (12月第2土曜日)
  - ◎ 老人会社会見学
  - ◎ 中学校、小学校と福祉活動の協力
  - ◎ 老人と小学校児童との交流会
  - ◎ 小地域ネットワーク活動  
(ボランティア活動)
- 以上の様な活動を、東町の自治会連絡協議会、公民分館、防犯協会その他の団体と協力して行っています。  
(1998年現在)

### ★ 賛助会費

(毎年2月に1回、何口でも可)

普通賛助会費 (個人)	1口	500円
特別賛助会費 (法人、団体、個人)	1口	5000円

### ★ 賛助会費

1989 (平成1) 年度	937, 500円
1990 (平成2) 年度	1, 093, 500円
1991 (平成3) 年度	1, 065, 500円
1992 (平成4) 年度	1, 065, 000円
1993 (平成5) 年度	1, 044, 500円
1994 (平成6) 年度	1, 242, 000円
1995 (平成7) 年度	1, 195, 000円
1996 (平成8) 年度	1, 156, 500円
1997 (平成9) 年度	1, 152, 500円

## 東丘校区社会福祉協議会歴代役員表

年次	昭和53年 1978年	昭和54年 1979年	昭和55年 1980年	昭和56年 1981年	昭和57年 1982年	昭和58年 1983年	昭和59年 1984年
会長	西村 桂一	西村 桂一	植木 克己	植木 克己	植木 克己	辻村 明俊	辻村 明俊
副会長	今井澄真子 辻村 明俊 梅沢二三男	梅沢二三男 辻村 明俊 植木 克己	西村 桂一 梅沢二三男 高木 哲	西村 桂一 梅沢二三男 高木 哲	西村 桂一 梅沢二三男 山岡 秀一	植木 克己 今井澄真子 日野順次郎	植木 克己 今井澄真子 国枝 弘治
書記	柳沢 年子	柳沢 年子	石丸 誠子	石丸 誠子	城島日娑世	城島日娑世	厩田 瑛子
会計	流郷 芳子	流郷 芳子	沼田 昌子	沼田 昌子	沼田 昌子	岡本 洋子	岡本 洋子
会計	国枝 弘治	国枝 弘治	国枝 弘治	国枝 弘治	藤川 睦夫	木下 順一	岸畑美津恵
監査	岸畑美津恵	岸畑美津恵	流郷 芳子	流郷 芳子	今井澄真子	岸畑美津恵	歳脇 儀一

年次	昭和60年 1985年	昭和61年 1986年	昭和62年 1987年	昭和63年 1988年	平成元年 1989年	平成2年 1990年	平成3年 1991年
会長	辻村 明俊	辻村 明俊	辻村 明俊	辻村 明俊	辻村 明俊	今井澄真子	今井澄真子
副会長	今井澄真子 植木 克己 好光健次郎	今井澄真子 植木 克己 山田寿太郎	今井澄真子 植木 克己 山田寿太郎	今井澄真子 植木 克己 山田寿太郎	今井澄真子 植木 克己 山田寿太郎	植木 克己 吉田 昭 山田寿太郎	吉田 昭 山田寿太郎 藤井 正秋
書記	米田 道子	米田 道子	米田 道子	米田 道子	米田 道子	米田 道子	米田 道子
会計	下村 君子	下村 君子	小阪さかえ	小阪さかえ	岸畑美津恵	岸畑美津恵	沼田 早苗
会計	歳脇 儀一	中埜 定	中埜 定	岸畑美津恵	丹羽 道修	歳脇 儀一	歳脇 儀一
監査	岡本 洋子	岸畑美津恵	岸畑美津恵	丹羽 道修	柴岡 浩平	高橋 信子	岸畑美津恵

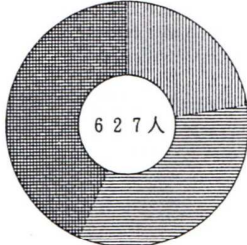
年次	平成4年 1992年	平成5年 1993年	平成6年 1994年	平成7年 1995年	平成8年 1996年	平成9年 1997年	平成10年 1998年
会長	今井澄真子	今井澄真子	山田寿太郎	山田寿太郎	山田寿太郎	山田寿太郎	山田寿太郎
副会長	吉田 昭 山田寿太郎 大垣 朝	吉田 昭 山田寿太郎	吉田 昭 歳脇 儀一 葛原 功 福岡 鈴子	吉田 昭 歳脇 儀一 葛原 功 福岡 鈴子	吉田 昭 福岡 鈴子 歳脇 儀一 葛原 功	吉田 昭 歳脇 儀一 葛原 功 岸畑美津恵	吉田 昭 歳脇 儀一 葛原 功 岸畑美津恵 高野 光男
書記	中村 章子	中村 章子	中村 章子	中村 章子	中村 章子	中村 章子	中村 章子
会計	吉山 妙子	吉山 妙子	吉山 妙子	吉山 妙子	吉山 妙子	吉山 妙子	吉山 妙子
会計	葛原 功	歳脇 儀一	町田 彦一	町田 彦一	町田 彦一	町田 彦一	町田 彦一
監査	沼田 早苗	沢田キヌ子	影山 亨	沖原 弘卓	清水 博文	田中 潤	中川 邦江

# アンケート集計

東丘校区社会福祉協議会 広報部会  
(1995年3月実施)

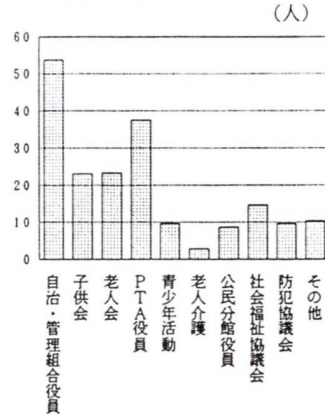
## 地域活動について

① あなたは、これまでに、地域活動、ボランティア活動に参加したことがありますか (%)

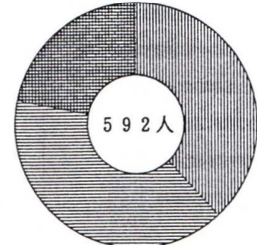


- |||| 1 現在活動中(22.5)
- ≡≡ 2 以前活動した(34.1)
- 3 したことがない(43.4)

② ①で、1、2と、答えた方は、どの団体ですか (人)

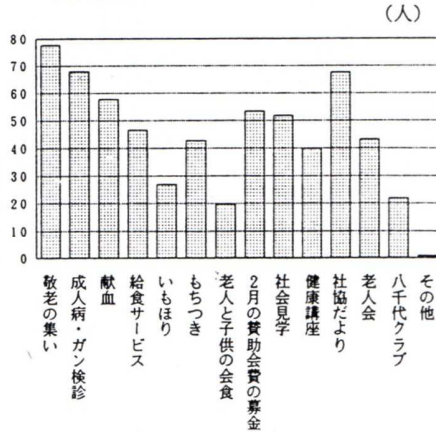


③ 東丘校区社会福祉協議会（東丘社協）について (%)

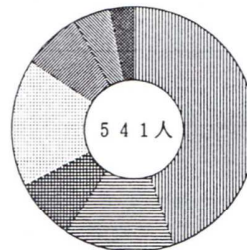


- |||| 1 知っている(38.2)
- ≡≡ 2 少し知っている(40.0)
- 3 知らない(21.8)

④ 次のような活動について知っているものは (人)

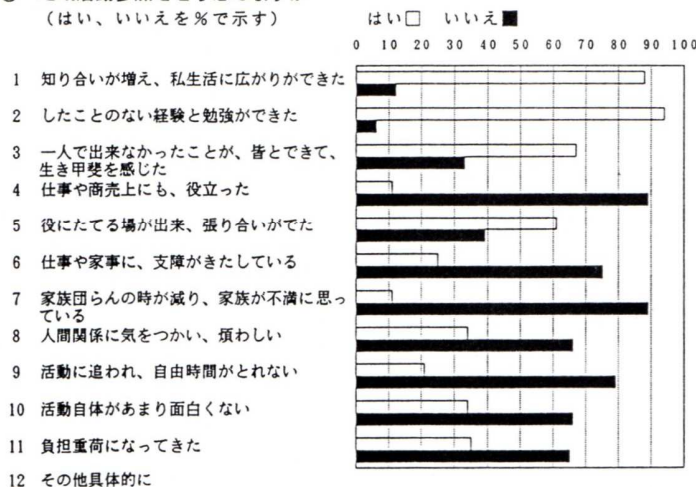


⑤ 地域活動に参加された方で、その動機は (%)

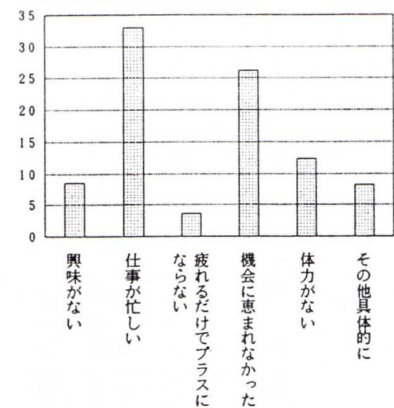


- |||| 1 自治会の当番制でしかたなく(44.7)
- ≡≡ 2 知人から推薦、依頼されて(14.4)
- 3 人の役にたちたいから(8.3)
- |||| 4 子供が世話になったから(16.8)
- |||| 5 ふれあいを求めて(7.8)
- |||| 6 以前から関心があった(4.8)
- 7 その他、具体的に(3.1)

⑥ 地域活動参加をどう感じますか (はい、いいえを%で示す)



⑦ 地域活動に参加されない人、また、止めた人の理由は (人)

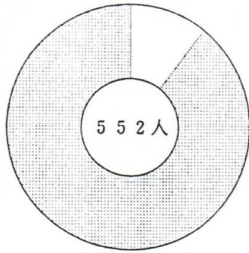




# ボランティア活動について

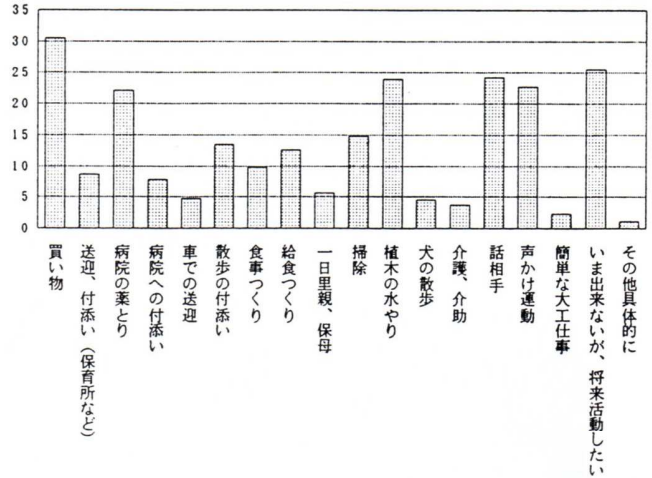
東丘社協でも、ボランティアの組織を作ろうという意見が出ています。このボランティア活動についてお聞かせください。

① 現在、あなたはボランティア活動をしていますか。(%)



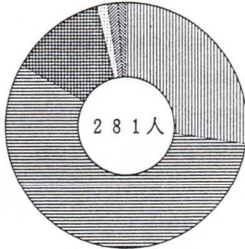
□ している(10.5)  
■ していない(89.5)

② あなたが、校区内でボランティア活動をする場合、このようなものなら出来る、やってみたいと、思われるものに、印をつけてください。(人)



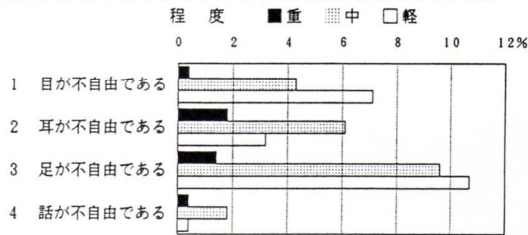
## 60歳以上の方について

① 健康は (%)

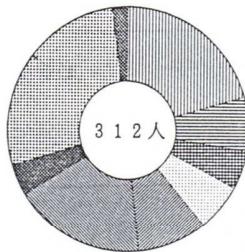


||||| 1 大変健康である(27.4)  
 ||||| 2 病気をもっているが、日常生活に不自由はない(55.9)  
 ||||| 3 病気、障害があるが、自分で生活できる(12.8)  
 ||||| 4 病気、障害があつて、屋内の生活は自分でできるが、屋外は介助がいる(1.4)  
 ||||| 5 寝ていないが、屋内生活も苦勞している(1.4)  
 ||||| 6 一日の大半は、寝ている、介助がいる(1.1)

② 次のような障害がありますか (回答者280分の%で示す。障害者47.2%、障害なし52.8%)

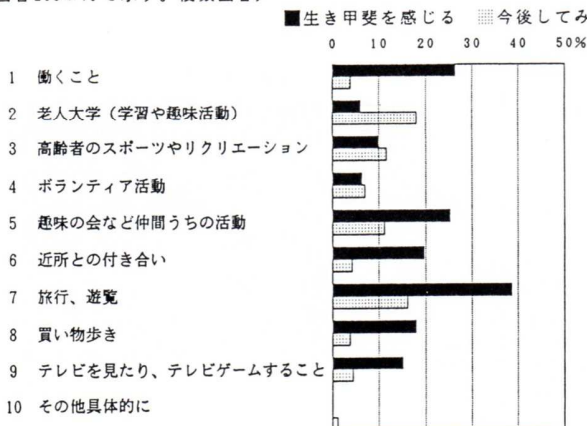


③ 日常どのような活動をされていますか (%)

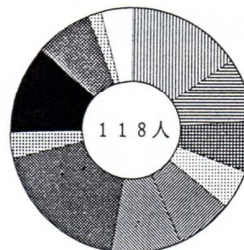


||||| 1 動めにいっている(20.2)  
 ||||| 2 アルバイトをしている(7.1)  
 ||||| 3 自営業をしている(5.1)  
 ||||| 4 老人会で活動をしている(6.4)  
 ||||| 5 自治会や地域の団体に活動をしている(9.3)  
 ||||| 6 仲間や趣味の会で活動している(17.9)  
 ||||| 7 ボランティア活動をしている(4.2)  
 ||||| 8 とくに仕事も活動もしていない(27.6)  
 ||||| 9 その他(具体的に)(2.2)

④ 今していることで、生き甲斐を感じることは、また、今後してみたいことは (回答285の%で示す。複数回答)



⑤ あなたが、してほしいボランティア活動は (%)



||||| 1 買い物(15.3)  
 ||||| 2 病院への付添い(8.5)  
 ||||| 3 病院の薬取り(6.8)  
 ||||| 4 外出、散歩の付添い(5.1)  
 ||||| 5 車での送迎(7.6)  
 ||||| 6 食事づくり(9.3)  
 ||||| 7 掃除(18.6)  
 ||||| 8 植木の水やり(3.4)  
 ||||| 9 犬の散歩(一)  
 ||||| 10 話相手(11.9)  
 ||||| 11 介護、介助(7.6)  
 ||||| 12 簡単な大工仕事(1.7)  
 ||||| 13 その他具体的に(4.2)

# 社協活動のあしあと



# 豊中地域防犯協会東丘支部20周年のあゆみ

(昭和53年(1978)7月15日地域防犯協会東丘支部発足す)

## 昭和54年度(1979)

- 4月24日 春の防犯強化週間
- 5月26日 昭和54年度支部総会(東丘小図書室)
- 6月16日 地区内街頭・防犯灯点検
- 7月21・28日 夏の防犯(自主的に巡視)
- 8月4・11日 ( )
- 10月1日 広報「ひがしまち」第2号発行
- 12月28~30日 歳末夜警実施(地区5カ所に詰所)
- 3月8日 少年補導員制度の親切(初代:下地信子)



## 昭和55年度(1980)

- 4月21~30日 春の防犯運動
- 6月8日 支部総会
- 6月17日 戸締り・車のキー抜き運動キャンペーン
- 7月19日 夏の夜警(2班編成で巡視)
- 8月2日 ( )
- 8月8日 夏の防犯婦人大会(市民会館)
- 10月11日 秋の防犯運動(千里中央にて街頭キャンペーン)
- 11月1日 広報「ひがしまち」第3号発行



## 昭和56年度(1981)

- 4月21日 春の防犯運動(自転車の施錠点検)
- 7月 夏の防犯運動
- 10月 秋の防犯運動(防犯教室実施)
- 12月 歳末夜警

## 昭和57年度(1982)

- 4月21日 春の防犯運動(街頭キャンペーン)
- 5月22日 支部総会
- 7月 夏の防犯運動(少年補導を中心に)
- 10月 秋の防犯運動(自転車安全講習会)
- 12月28~30日 歳末夜警



## 昭和58年度(1983)

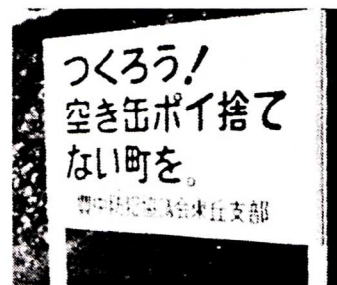
- 4月 春の防犯運動(街頭キャンペーン)
- 5月3日 15回千里子供カーニバル(千里南公園)
- 5月22日 支部総会
- 7月 夏の防犯運動(地区夜警)
- 8月 地区盆踊り(会場の巡回・警備)
- 9月 敬老の集い(会場の警備)
- 10月 秋の防犯運動(街頭キャンペーン)  
自転車安全講習会(東丘小)  
地区体育祭(会場警備)
- 12月28~30日 歳末夜警



## 昭和59年度(1984)

- 4月 春の防犯運動(街頭キャンペーン)
- 5月3日 16回千里子供カーニバル(千里南公園)
- 5月20日 支部総会
- 6月 防犯標語・図画募集

- 7月 夏の防犯運動（地区夜警）
- 8月18・19日 盆踊り（会場警備）
- 9月15日 敬老の集い（会場警備）
- 10月 秋の防犯運動（街頭キャンペーン）
- 自転車安全講習会（東丘小）
- 10月14日 地区体育祭（会場警備）
- 12月28～30日 歳末夜警
- 60年2月1日 広報誌「ひがしまち」第4号発行



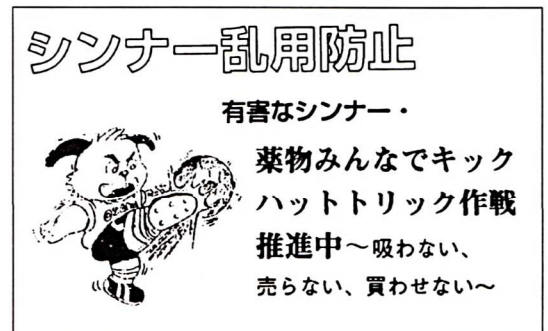
### 昭和60年度（1985）

- 4月24日 春の防犯運動（街頭キャンペーン）
- 5月3日 17回千里子供カーニバル（千里南公園）
- 5月19日 支部総会
- 7月 夏の防犯運動（地区夜警）
- 8月3・4日 盆踊り（会場警備）
- 9月15日 敬老の集い（会場警備）
- 10月11日 秋の防犯運動（街頭キャンペーン）
- 10月13日 地区体育祭（会場警備）
- 12月28～30日 歳末夜警
- 60年2月25日 広報誌「ひがしまち」第5号発行



### 昭和61年度（1986）

- 4月23日 春の防犯運動（街頭キャンペーン）
- 5月3日 18回千里子供カーニバル（千里南公園）
- 6月8日 支部総会・防犯教室  
（講師：豊中署防犯課 山本氏）
- 7月 夏の防犯運動（地区夜警）
- 8月23・24日 盆踊り（会場警備）
- 9月14日 敬老の集い（会場警備及び案内）
- 10月 日 秋の防犯運動（街頭キャンペーン）
- 10月12日 地区体育祭（会場整備・安全対策）
- 12月28～30日 歳末夜警



### 昭和62年度（1987）

- 4月 春の防犯運動（街頭防犯キャンペーン）
- 5月3日 19回千里子供カーニバル（千里南公園）
- 6月14日 支部総会・防犯教室  
（悪徳商法についてー広瀬防犯課長）
- 7月10日 広報誌「ひがしまち」第6号発行
- 7月25・8月1・29日 夏の夜警（地区巡回）
- 8月22・23日 盆踊り（会場警備）
- 9月15日 敬老の集い（会場警備及び案内）
- 10月11日 地区体育祭（会場整備・安全対策）
- 16日 秋の防犯運動（少年非行防止市民の集い）
- 12月2日 歳末防犯運動（年末防犯とよなか大会）
- 28～30日 歳末夜警（地区巡回）



### 昭和63年度（1988）

- 4月 春の防犯運動（街頭防犯キャンペーン）
- 5月3日 20回千里子供カーニバル（千里南公園）
- 6月12日 支部総会・防犯教室（少年課三上和夫係長）
- 7月23・30・8月20・21日 夏の夜警（地区巡回）
- 23日 防犯教室「夏季犯罪と防犯活動」防犯課神例敏彦係長
- 8月2日 夏の防犯運動（街頭防犯キャンペーン）

- 8日 防犯速報配布（東町全戸）
- 20・21日 盆踊り（会場警備）
- 9月1日 広報誌「ひがしまち」第7号発行
- 18日 敬老の集い（会場警備）
- 10月11日 秋の防犯運動（全国防犯大会）
- 16日 地区体育祭（会場整備）
- 12月1日 歳末警戒出陣式に参加
- 14・17・24日 セーフティパトロール隊編成（地区巡視）
- 27・28・29日 歳末夜警（地区巡回）
- 64年3月1日 広報誌「ひがしまち」第8号発行



### 平成元年度（1989）

- 4月22日 春の防犯運動（街頭キャンペーン）
- 29日 21回千里子供カーニバル（千里南公園）
- 28日 支部総会・防犯教室（神例敏彦防犯係長）  
防犯教室 ビデオ「ドロボーのささやき」  
講演 「防犯委員の任務と互助防犯」  
講師 神例敏彦氏（豊中署防犯係長）
- 7月22・29・8月26日 夏の夜警（地区巡回）
- 8月 夏の防犯運動 防犯速報配布
- 9月15日 広報誌「ひがしまち」第9号発行
- 15日 敬老の集い（場内外警備）
- 10月11日 秋の防犯運動  
防犯大会（アクア文化ホール）
- 14日 防犯親睦ゲートボール大会
- 15日 地区体育祭（会場全般の警備・安全対策）
- 12月 歳末防犯運動
- 1日 歳末警戒出陣式に参加
- 16・23日 ママさんパトロール（昼間の地区巡回）
- 27・28・29日 歳末夜警（地区巡回）
- 2年3月1日 広報誌「ひがしまち」第10号発行

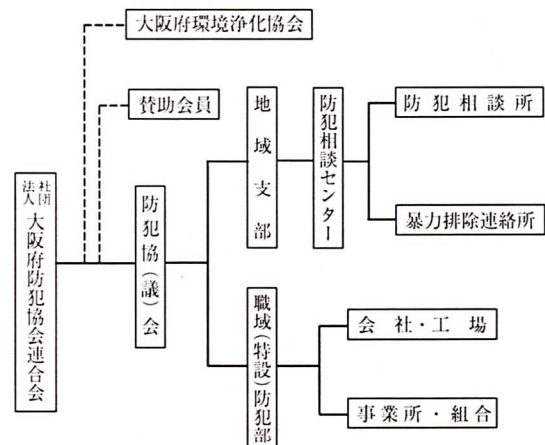


### 平成2年度（1990）

- 4月23日 春の防犯運動（街頭防犯キャンペーン）
- 27日 暴力追放府民大会（中之島公会堂）
- 29日 22回千里子供カーニバル（千里南公園）
- 5月27日 支部総会・防犯教室（渡部公雄防犯課長）
- 7月10日 広報誌「ひがしまち」第11号発行
- 18日 夏の防犯運動・防犯教室「少年非行の現状と問題点」  
防犯教室「少年非行の現状と問題点」  
（健全育成会と共催）
- 21・28 夏の夜警（地区巡回）
- 8月 盆踊り（場内警備）
- 9月16日 敬老の集い（場内警備）
- 10月 地区体育祭（場内警備）
- 11日 秋の防犯運動  
防犯大会（よみうり文化ホール）
- 14日 防犯親睦ゲートボール大会
- 12月 歳末防犯運動・歳末夜警（地区巡回）
- 3年3月25日 広報誌「ひがしまち」第12号発行



防犯協会の組織



### 平成3年度（1991）

- 4月23日 春の防犯運動（街頭防犯キャンペーン）
- 28日 23回千里子供カーニバル（千里南公園）

- 5月26日 支部総会・防犯教室（渡部公雄防犯課長）  
防犯教室 映画「ひったくり多発」（佐藤由雄防犯課長）
- 7月2日 暴力追放府民大会（中之島公会堂）
- 17日 母と子の防犯教室（神例敏彦防犯係長）
- 20・27日 夏の夜警（地区巡回）
- 8月1日 広報誌「ひがしまち」第13号発行
- 24・25日 盆踊り（場内外警備）
- 9月15日 敬老の集い（場外警備）
- 10月11日 とよなか防犯大会（千里協栄生命ホール）
- 13日 地区体育祭（会場全般の警備・安全対策）
- 12月13日 歳末防犯運動（ママさんパトロール）
- 27・28・29日 歳末夜警（地区巡回）
- 4年3月12日 暴力団排除研修会（東町会館）講師 神例敏彦防犯係長
- 4年3月15日 広報誌「ひがしまち」第14号発行



### 平成4年度（1992）

- 4月23日 春の防犯運動（街頭防犯キャンペーン）
- 28日 暴力団排除市民大会（千里よみうり文化ホール）
- 29日 24回千里子供カーニバル（千里南公園）
- 5月31日 支部総会・防犯教室（池村防犯主任）
- 7月3日 暴力追放府民大会（中之島公会堂）
- 18・25日 夏の夜警（地区巡回）
- 8月22・23日 盆踊り（場内外警備）
- 9月13日 敬老の集い（場外警備）
- 20日 広報誌「ひがしまち」第15号発行
- 10月13日 とよなか防犯大会（千里よみうり文化ホール）
- 18日 地区体育祭（会場全般の警備・安全対策）
- 12月4日 歳末街頭キャンペーン（千里中央）
- 19日 歳末防犯運動（ママさんパトロール地区巡回）
- 28・29・30日 歳末夜警（地区巡回）
- 5年3月15日 広報誌「ひがしまち」第16号発行



### 平成5年度（1993）

- 4月22日 春の防犯運動（千里中央街頭キャンペーン）
  - 5月2日 25回千里子供カーニバル（千里南公園）
  - 30日 支部総会・防犯教室（仮屋園防犯主任）
  - 7月1日 社明運動（千里中央街頭キャンペーン）
  - 23日 民事介入暴力対策大阪大会（厚生年金ホール）
  - 18・31日 夏の夜警（地区巡回）
  - 8月21日 盆踊り（場内外警備）
  - 9月15日 敬老の集い（場外警備）
  - 15日 広報誌「ひがしまち」第17号発行
  - 17日 生活道路のオートバイ通行調査  
（東丘小PTA・防犯委員）
  - 23日 防犯母親教室（東丘小PTA共催）
  - 10月13日 とよなか防犯大会（千里よみうり文化ホール）
  - 15日 防犯街頭キャンペーン（千里中央）
  - 17日 地区体育祭（会場全般の警備・安全対策）
  - 11月3日 ふれあい広場（会場全般警備）
  - 30日 歳末警戒出陣式に参加
  - 12月18日 ママさんパトロール（地区巡回）
  - 28・29・30日 歳末夜警（地区巡回）
- （本部と各自治会に詰所を設ける）
- 6年3月25日 広報誌「ひがしまち」第18号発行



## 平成6年度(1994)

- 4月29日 26回千里子供カーニバル(千里南公園)
- 5月29日 支部総会  
防犯教室 ビデオ「シンナー」  
講演 「少年非行の実態と親の在り方」  
講師 防犯課少年係長 佐藤充徳警部補
- 6月26日 役員の地区巡回
- 7月11日 防犯教室(神例敏彦防犯係長)  
23・30日 夏の夜警(地区巡回)
- 8月20日 盆踊り(場内警備)  
25日 広報誌「ひがしまち」第19号発行
- 9月18日 敬老の集い(場外警備)
- 10月6日 全国防犯大会 とよなか(千里よみうり文化ホール)  
(吉田昭・米田恵祐・清水千緋氏表彰される)  
8日 合同パトロール(2班に分かれて東町全域巡回)  
16日 地区体育祭(会場全般の警備・安全対策)  
30日 歳末警戒出陣式に参加
- 12月2日 歳末防犯運動(街頭キャンペーン)  
17日 ママさんパトロール(東町全域巡回)  
28・29・30日 歳末夜警(地区巡回)  
(本部と各自治会に詰所を設ける)
- 7年3月30日 広報誌「ひがしまち」第20号発行



## 平成7年度(1995)

- 4月29日 27回千里子供カーニバル(千里南公園)
- 5月29日 支部総会・防犯教室(佐藤充徳警部補-防犯係長)
- 6月23日 とよなか地域安全大会(アクア文化ホール)  
(足立貢子氏表彰される)
- 7月4日 防犯教室(東丘小PTA共催) 講師:佐藤充徳警部補
- 7月11日 夏の夜警(地区巡回)(7/22は雨のため中止)
- 8月20日 広報誌「ひがしまち」第21号発行
- 8月26日 盆踊り(場内警備)
- 9月15日 敬老の集い(会場警備及び交通整理)
- 10月8日 臨時総会 「APECに関して」
- 10月15日 地区体育祭(会場全般の警備・安全対策)
- 11月30日 歳末警戒出陣式に参加(大門公園) 役員7名
- 12月2日 歳末防犯運動(千里中央にて街頭キャンペーン)
- 12月16日 ママさんパトロール(東町住区及び千里中央巡回)
- 12月28~30日 歳末夜警(東町全域巡回)(のべ122名)
- 8年3月30日 広報誌「ひがしまち」第22号発行



## 平成8年度(1996)

- 4月21日 春の地域安全運動(セルシー広場にて) 防犯委員参加
- 4月29日 28回千里子供カーニバル(千里南公園)
- 5月18日 防犯・救急訓練(主催-東町災害対策委員会)
- 5月26日 支部総会「H7年度活動・決算」  
防犯教室(松井廣警部補)
- 7月4日 防犯教室(東丘小PTA共催) 講師:松井廣警部補
- 7/27・8/3・17日 夏の夜警(地区巡回)(のべ95名)
- 8月30日 広報誌「ひがしまち」第23号発行
- 9月6日 暴力追放府民大会に参加
- 9月16日 敬老の集い(会場警備及び交通整理) 5名
- 9月22日 地区体育祭(会場全般の警備・安全対策)



- 10月11日 とよなか地域安全大会（よみうり文化ホール）60名参加
- 10月13日 合同パトロール（東町全域巡回）（41名参加）
- 11月3日 '96新千里東町消防フェア（新千里東町自治会連絡協議会）
- 11月10日 防犯速報作成&配布「ひたくり注意」
- 11月29日 歳末警戒特別部隊出陣式に参加（大門公園）役員5名
- 11/25～12/15 歳末夜警（防犯役員による地区巡回）
- 12/16～12/27 歳末夜警（地域の防犯委員を含む）
- 12月14日 ママさんパトロール（東町全域及び千里中央巡回）60名
- 12月28～30日 歳末夜警（東町全域巡回）（のべ133名）
- 9年3月30日 広報誌「ひがしまち」第24号発行



### 平成9年度（1997）

- 4月20日 春の地域安全運動（千中パル広場）
- 27日 29回千里子供カーニバル（千里南公園）役員5名
- 5月25日 支部総会「H8年度活動・決算報告」・防犯教室（松井廣警部補）
- 7月2日 防犯教室（東丘小PTAと共催）出席者64名  
講師：松井廣警部補（生活安全課ー防犯係）
- 8月2・23日 夏の夜警（地区巡回）（参加者72名）
- 23日 地区盆踊り（会場警備）
- 25日 広報誌「ひがしまち」第25号発行
- 9月15日 敬老の集い（会場警備及び交通整理）台風のため中止
- 10月11日 とよなか地域安全大会（よみうり文化ホール）53名参加
- 12日 地区体育祭（会場警備）
- 11月11日 暴力団追放大会に参加（2名）
- 12月2日 歳末警戒特別部隊出陣式に参加（5名）
- 13日 合同パトロール（東町全域巡回）（52名参加）
- 14日～ 防犯役員による夜の巡視スタートする（10pm～）
- 20日 ママさんパトロール（東町全域及び千里中央巡回）45名
- 28～30日 歳末夜警（東町地区全域巡回）（のべ150名）
- 10年3月5日 ひたくり追放ママさんパトロール隊発足式に参加（3名）
- 10年3月25日 広報誌「ひがしまち」第26号発行



### 平成10年度（1998）

- 4月26日 30回千里子供カーニバル（千里南公園）役員5名
- 5月31日 支部総会「H9年度活動・決算報告」  
防犯教室 講師：松井廣警部補（生活安全課）
- 6月23～7月23日 地区巡回 火・木・土（役員のみ）
- 7月26日 防犯教室（東丘小PTAと共催）  
講師：松井廣警部補
- 夏の夜警（地区巡回）  
7/19・7/25～8/5・8/8（防犯役員・委員）
- 8月20日 広報誌「ひがしまち」第27号発行
- 22日 地区盆踊り（会場警備）
- 9月15日 敬老の集い（会場警備及び交通整理）
- 20日 地区体育祭（会場警備）
- 10月4日 とよなか地域安全大会
- 25日 ふれまちフェアー（20周年記念行事）
- 12月 歳末防犯運動  
ママさんパトロール（地区巡回）  
歳末夜警（地区巡回）
- 11年3月25日 広報誌「ひがしまち」第28号発行  
\*\* 毎月定例役員会を実施





# 豊中地域防犯協会東丘支部歴代役員表

年次	昭和53年 (1978)	昭和54年 (1979)	昭和55年 (1980)	昭和56年 (1981)	昭和57年 (1982)	年次	昭和58年 (1983)	昭和59年 (1984)
支 部 長	梅沢二三男	梅沢二三男	梅沢二三男	梅沢二三男	梅沢二三男	支 部 長	梅沢二三男	梅沢二三男
副 支 部 長	益子 茂	西村 桂一	西村 桂一	西村 桂一	西村 桂一	副 支 部 長	西村 桂一	西村 桂一
〃	辻村 明峻	辻村 明峻	辻村 明峻	石倉 静子	山岡 秀一	〃	辻村 明峻	辻村 明峻
〃	西村 桂一	安井準一郎	玉木貴代子			〃		
防 犯 部 長	金谷 孝男	中島 崇	植木 克己	植木 克己	植木 克己	防 犯 部 長	依岡 千明	曾我部健一
暴 排 部 長	阪本 治幸	阪本 治幸	歳脇 儀一	歳脇 儀一	歳脇 儀一	暴 排 部 長	大谷 孝雄	大谷 孝雄
婦 人 部 長	今井澄真子	今井澄真子	野崎 清子	玉木貴代子	玉木貴代子	婦 人 部 長	今井澄真子	今井澄真子
青 少 年 部 長	荻野喜久子	下地 信子	阪本 治幸	阪本 治幸	阪本 治幸	青 年 部 長	植木 克己	植木 克己
企 画 部 長	国枝 弘治	国枝 弘治	国枝 弘治	国枝 弘治	国枝 弘治	企 画 部 長	国枝 弘治	翁 鎮雄
交 通 部 長					太子 勝	交 通 部 長	宮川 邦彦	秋山 竜彦
書 記	土居 良子	土居 良子	赤井 直	赤井 直	平野弥太郎	書 記	平野弥太郎	国枝 弘治
会 計	杉村 芳子	杉村 芳子	森川 勝代	森川 勝代	高橋 禎子	会 計	高橋 禎子	国枝 弘治
会 計 監 査		伊藤 新蔵	伊藤 新蔵	伊藤 新蔵	伊藤 新蔵	会 計 監 査	伊藤 新蔵	伊藤 新蔵
青 少 年 補 導				杉村 芳子	杉村 芳子	少 年 指 導 員	杉村 芳子	杉村 芳子

年次	昭和60年 (1985)	昭和61年 (1986)	昭和62年 (1987)	年次	昭和63年 (1988)	平成元年 (1989)	平成2年 (1990)	平成3年 (1991)
支 部 長	梅沢二三男	梅沢二三男	梅沢二三男	支 部 長	梅沢二三男	梅沢二三男	町田 彦一	町田 彦一
副 支 部 長	西村 桂一	西村 桂一	西村 桂一	副 支 部 長	吉田 昭	吉田 昭	吉田 昭	吉田 昭
〃	辻村 明峻	辻村 明峻	辻村 明峻	〃	米川 恵祐	米川 恵祐	米川 恵祐	米川 恵祐
〃		高野 裕士	小亀 恵子	〃	町田 彦一	町田 彦一		
防 犯 部 長	曾我部健一	曾我部健一	赤沢 紀六	総 務 部 長			清水 千緋	清水 千緋
暴 排 部 長	大谷 孝雄	松尾 秀雄	松尾 秀雄	防 犯 部 長	岡部 英紀	岡部 英紀	岡部 英紀	岡部 英紀
婦 人 部 長	今井澄真子	今井澄真子	今井澄真子	暴 排 部 長	下野 周三	下野 周三	下野 周三	下野 周三
青 年 部 長	植木 克己	植木 克己	植木 克己	婦 人 部 長	杉村 芳子	杉村 芳子	杉村 芳子	杉村 芳子
企 画 部 長	翁 鎮雄	翁 鎮雄	翁 鎮雄	青 年 部 長	高橋 禎子	高橋 禎子	米田 道子	米田 道子
交 通 部 長	秋山 竜彦	秋山 竜彦	山本 徳男	企 画 部 長	窪田佳代子	窪田佳代子	窪田佳代子	鷹藁アヤ子
書 記	国枝 弘治	土居 良子	清水 千緋	交 通 部 長	山本 徳男	山本 徳男	阪本 治幸	阪本 治幸
会 計	国枝 弘治	玉木貴代子	玉木貴代子	副 交 通 部 長	加藤 秀廣	園田 義昭		
少 年 指 導 員	杉村 芳子	杉村 芳子	杉村 芳子	環 境 部 長			園田 義昭	園田 義昭
会 計 監 査	伊藤 新蔵	米田 道子	林 兵治郎	会 計	足立 貢子	足立 貢子	足立 貢子	足立 貢子
	太子 勝	林 兵治郎		書 記	清水 千緋	清水 千緋		
				会 計 監 査	玉木貴代子	阪本 治幸	林 兵治郎	林 兵治郎

年次	平成4年 (1992)	年次	平成5年 (1993)	平成6年 (1994)	平成7年 (1995)	平成8年 (1996)	平成9年 (1997)	平成10年 (1998)
支 部 長	町田 彦一	支 部 長	町田 彦一	町田 彦一	町田 彦一	町田 彦一	町田 彦一	町田 彦一
副 支 部 長	吉田 昭	副 支 部 長	吉田 昭	吉田 昭	吉田 昭	吉田 昭	吉田 昭	吉田 昭
〃	米川 恵祐	〃	米川 恵祐	金谷吉三郎	金谷吉三郎	金谷吉三郎	金谷吉三郎	金谷吉三郎
〃	牧野世紀子	〃	牧野世紀子	牧野世紀子	牧野世紀子	平戸 邦弘	平戸 邦弘	西 史欽
総 務 部 長	清水 千緋	〃	清水 千緋	清水 千緋	清水 千緋	清水 千緋	清水 千緋	清水 千緋
防 犯 部 長	岡部 英紀	総 務 部 長	清水 千緋	山下 但	山下 但	山下 但	山下 但	山下 但
暴 排 部 長	下野 周三	防 犯 部 長	岡部 英紀	鷹藁アヤ子	鷹藁アヤ子	鷹藁アヤ子	鷹藁アヤ子	鷹藁アヤ子
婦 人 部 長	杉村 芳子	企 画 部 長	鷹藁アヤ子	杉村 芳子	杉村 芳子	杉村 芳子	杉村 芳子	杉村 芳子
青 年 部 長		婦 人 部 長	杉村 芳子	杉村 芳子	杉村 芳子	杉村 芳子	杉村 芳子	杉村 芳子
企 画 部 長	鷹藁アヤ子	暴 排 部 長	下野 周三	下野 周三	下野 周三	下野 周三	下野 周三	矢野 秀幸
交 通 部 長	鳴戸 一夫	交 通 部 長	鳴戸 一夫	西田 孝子		米田 道子	大和 律子	近藤 範枝
副 交 通 部 長		環 境 部 長	園田 義昭	千葉 和夫	千葉 和夫	田中 潤	寺田 健吉	河野 希望
環 境 部 長	園田 義昭	会 計	足立 貢子	足立 貢子	足立 貢子	足立 貢子	足立 貢子	足立 貢子
書 記	足立 貢子	会 計 監 査	林 兵治郎	林 兵治郎	林 兵治郎	千葉 和夫	千葉 和夫	千葉 和夫
会 計 監 査	林 兵治郎							

## 新千里東町のあゆみ（Ⅱ）



◀ 市立第八中学校



市立東丘小学校 ▶



◀ 女性防火クラブ設立



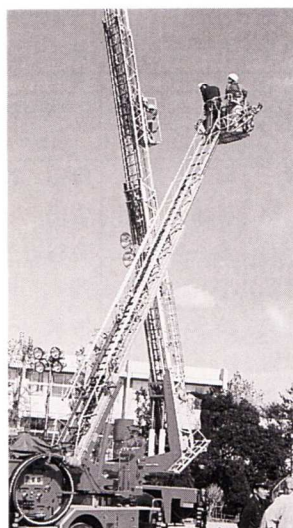
新千里東町の全景 ▶



◀ 中央公園のスベリ台



盆踊り子ども太鼓風景 ▶



千里体育館前  
▼ モニュメント

▶ 長谷池



▶ 緑り深き東町



▲ 千里五住区で初の  
消防フェア

## 編集後記

東町の公民分館、社会福祉協議会、防犯協会が記念式典を共同で行うことを話し合ったのは、1997年春頃であった。催し物は出来るだけ老壮少が一緒に参加できるものという事で、式典だけではなく、文化祭や子供が遊べるもの、模擬店等も加え町全員が参加できる催しと決めました。

1998年1月17日、周年記念実行委員会を結成し、他団体の協賛もえ、「東丘ふれまちフェア」の名称で、式典部、催し物部、記念誌部、事務局等の人員を決めた。問題は、百数十万円の予算の確保と、人員の確保であった。4月12日にバザーを開催し、予想を上回る資金をえた。各団体とも、通例の行事活動を行いながらの準備であるため、3団体の役員は予想を上回る忙しさで、それでも、9月末までには7回の実行委員会を開き、拡大委員会や各部毎の会合も何回ももった。

記念誌に関しては、各団体の活動の歴史とともに、東町住民から多くの体験談を語ってもらおうと、長年青少年の体育活動を指導してこられた葛原氏や、多くの分野で活動しておられる東町出身の人々に書いて頂いた。とくに、安場池の自然と環境を住民の力で守られた中山氏に原稿を頂いた。安場池の計画中止について、行政の側は、国や府県市町村を問わず、机上で決めたことは住民の反対があっても、メンツにかけて押し通すが、豊中市は住民の声を聞く良識もある、という声が編集子に出た。行政、教育、福祉、防犯、いずれも、住民あってのことであり、住民のためにこそある。

時間に追われながら、なんとか記念誌を作り上げた方々に感謝するとともに、また、最後まで奮闘された式典部、催し物部、事務局さらに協力頂いた小中学校・豊中北消防署・豊中消防音楽隊や、本フェアにご参加頂いた地域の皆さんに衷心より感謝いたします。

記念誌 編集委員	【分館】	吉田 昭	服部 照子	
	【社協】	山田 寿太郎	高野 光男	城島 日娑世
	【防犯】	町田 彦一	清水 千緋	

### 三団体創立周年記念誌

1998.10.25 発行

発行者：三団体周年記念実行委員会

印刷所：株式会社エスエー印刷

〒550-0014 大阪市西区北堀江2丁目14番19号

TEL (06) 531-4861

FAX (06) 541-5519

